第３期
赤井川子ども・子育て支援事業計画

ニーズ調査報告書

赤井川村

目　次

第１章　調査の概要 1

第2章　就学前児童の集計結果 5

１　お子さんとご家族の状況について 7
２　父親の就労状況と職場の両立支援制度について 11
３　母親の就労状況と職場の両立支援制度について 13
４　平日の定期的な教育・保育事業の利用について 17
５　地域の子育て支援事業等の利用について 23
６　平日以外の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について 24
７　お子さんが病気やケガのときの教育・保育事業について 26
８　不定期の教育・保育事業やショートステイ等の利用について 29
９　「小学校入学後の放課後の過ごし方」について 34
10　家庭での子育てと子育て環境について 39

第3章　小学生の集計結果 43

１　お子さんとご家族の状況について 45
２　父親の就労状況について 49
３　母親の就労状況について 51
４　お子さんの現在の放課後の過ごし方について 54
５　お子さんの今後の放課後の過ごし方について 55
６　家庭での子育てと子育て環境について 57

第１章　調査の概要

１．調査の概要

本調査は、子育て家庭の現状と今後の意向を把握するとともに、「第３期赤井川村子ども・子育て支援事業計画」を策定するために必要な基礎資料の収集を目的に実施しました。

調査対象	令和６年８月１日現在　赤井川村に在住する就学前児童及び小学性の保護者全員 ・就学前児童の保護者：24人 ・小学生の保護者：30人
調査期間	令和６年９月
調査方法	・郵送による配布・回収 ・上記に加え、WEB アンケートフォームによる回答を併用

２．調査票の回収結果

	配布数（票）	回収数（票）	白票（票）	有効回収数（票）	有効回収率（%）
就学前児童の保護者向け	24	22 （紙：3、WEB：19）	1	21	87.5
小学生の保護者向け	30	26 （紙：8、WEB：18）	1	25	83.3
合 計	54	48 （紙：11、WEB：37）	2	46	85.2

３．集計結果の表し方

○ 調査結果の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。

○ 百分率による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を100%として算出し、本文及び図の数字に関しては、すべて小数点第２位を四捨五入し、小数点第１位までを表記しています。複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがあります。

○ クロス集計（男女別の集計など）の表については、分析軸の項目の後に（ｎ）として、各項目の回答者数を表記しています。

○ クロス集計の分析軸となる項目に「無回答」がある場合は表示していません。よって、「全体」の数値と各項目の和が一致しない場合があります。

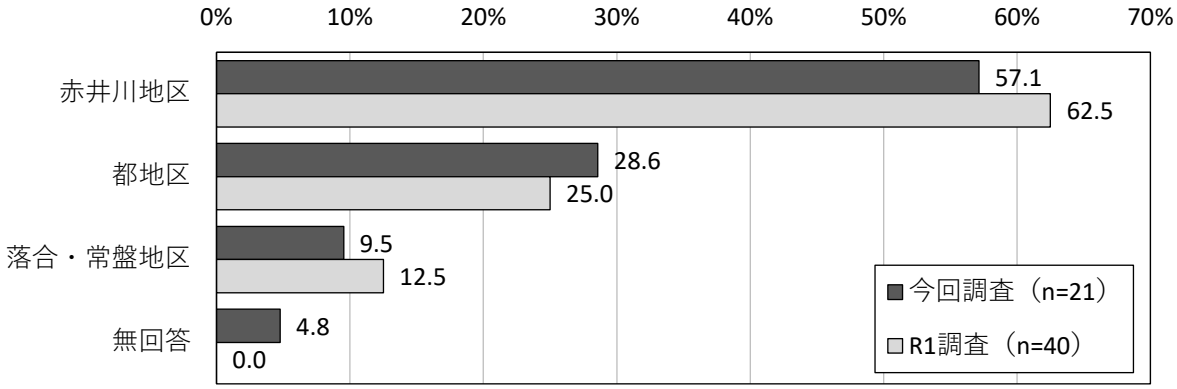
○ 第２期子ども・子育て支援事業計画策定時に実施したニーズ調査の集計結果は「Ｒ１調査」として表記しています。

第２章　就学前児童の集計結果

1　お子さんとご家族の状況について

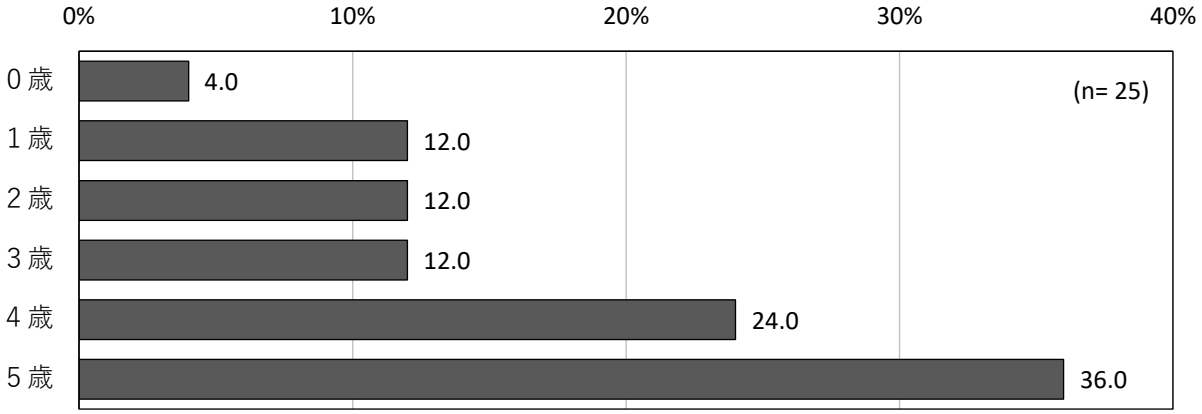
（1）居住地区

居住地区は、「赤井川地区」が57.1%、「都地区」（28.6%）、「落合・常盤地区」（9.5%）となっています。



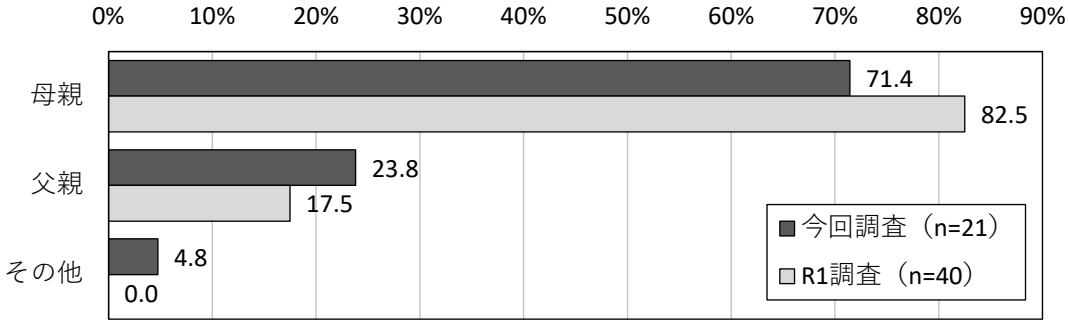
（2）子どもの年齢

お子さんの年齢は、「５歳」が36.0%で最も多く、次いで「４歳」が24.0%で続いています。



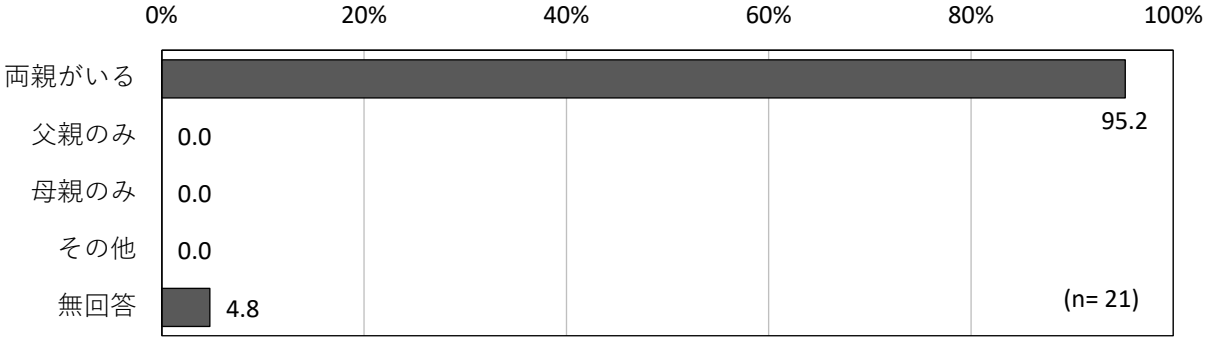
（3）回答者

調査票の回答者は、「母親」が71.4%、「父親」は23.8%となっています。



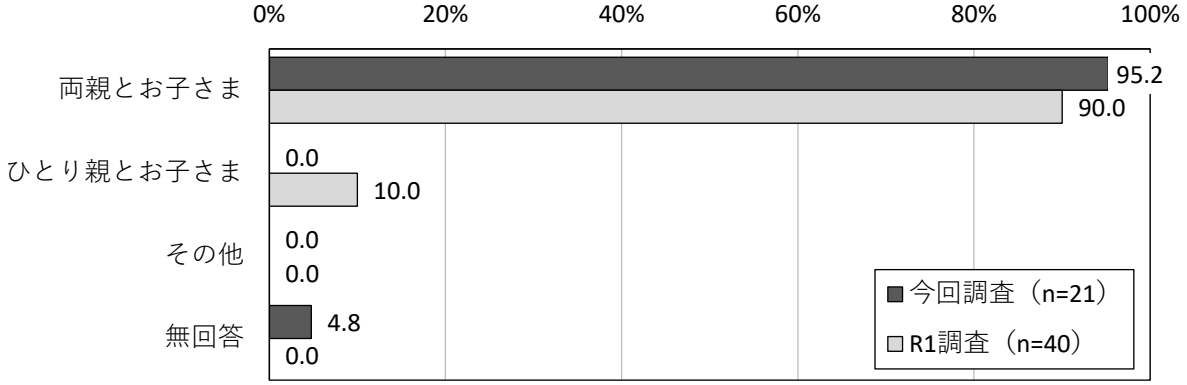
（4）保護者について

保護者の状況は、無回答を除いた全員が「両親がいる」（95.2%）と回答しています。



（5）家族構成

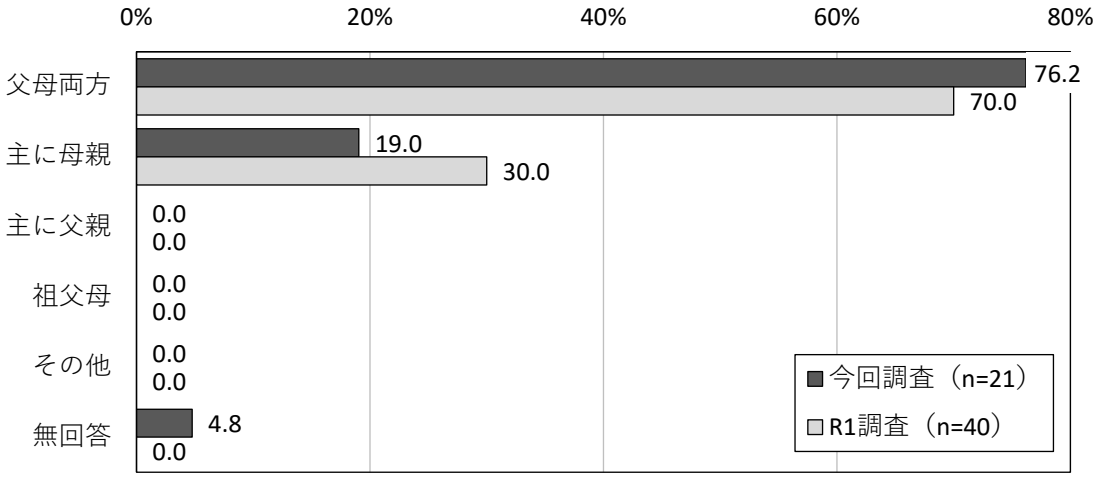
家族構成は、無回答を除いた全員が「両親とお子さま」（95.2%）と回答しています。



（6）子育てを主に行っている人

子育てを主に行っているのは、「父母両方」が76.2%で最も多く、次いで「主に母親」が19.0%で続いています。

前回調査と比較すると「主に母親」は11.0ポイント減少しています。



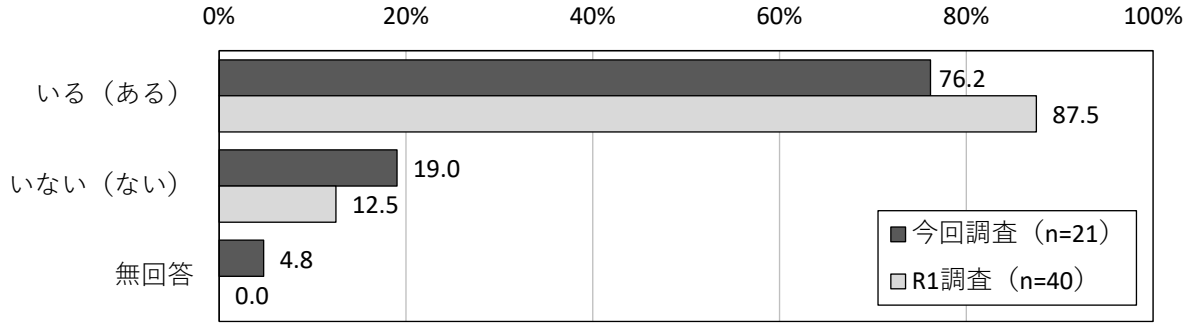
（7）子育てに関する相談相手について

子育てに関して気軽に相談できる人（場所）が「いる（ある）」と回答した人は76.2%でした。

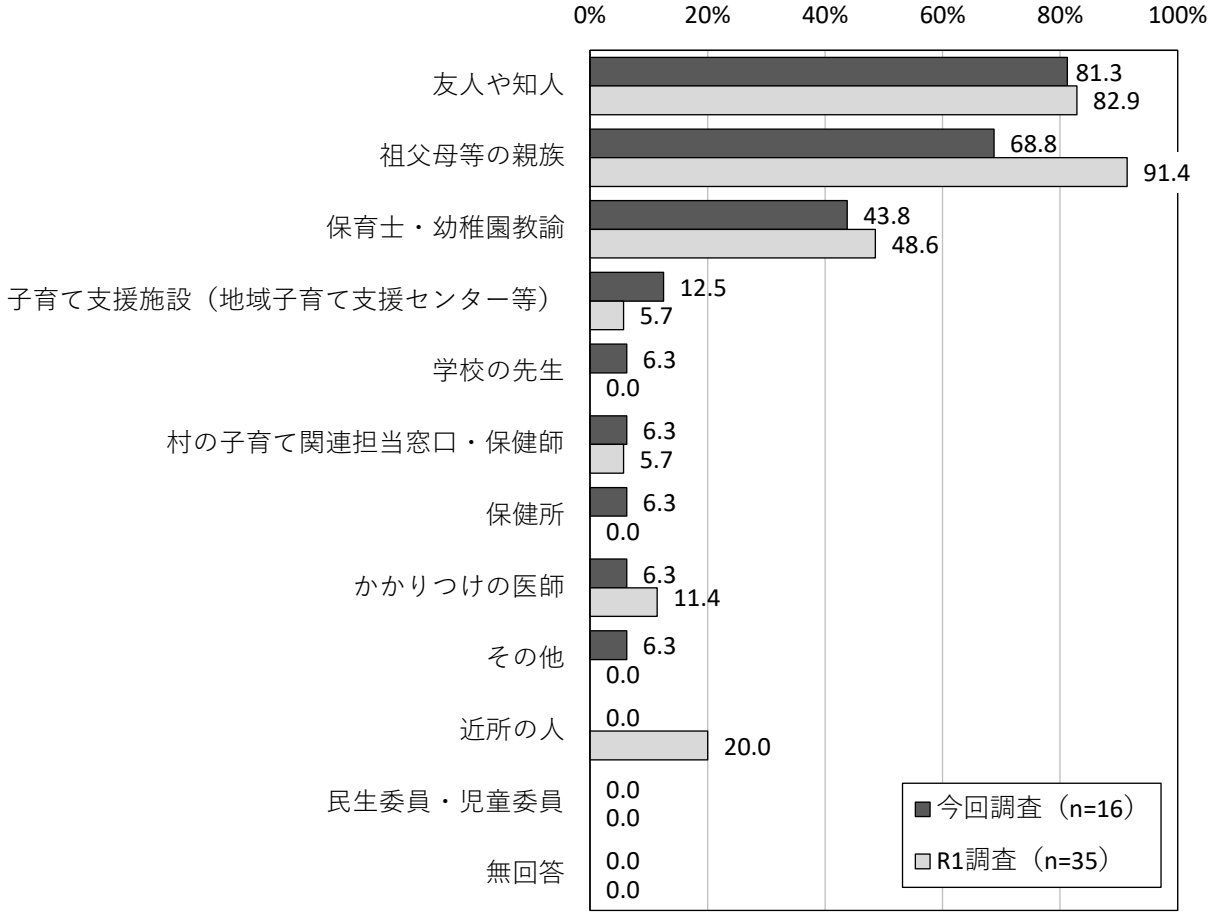
また、その相談相手としては、「友人や知人」（81.3%）、「祖父母等の親族」（68.8%）、「保育士・幼稚園教諭」（43.8%）が多くなっています。

前回調査と比較すると、「祖父母等の親族」が22.6ポイント減少しています。

≪相談相手（場所）の有無≫



≪相談相手≫複数回答



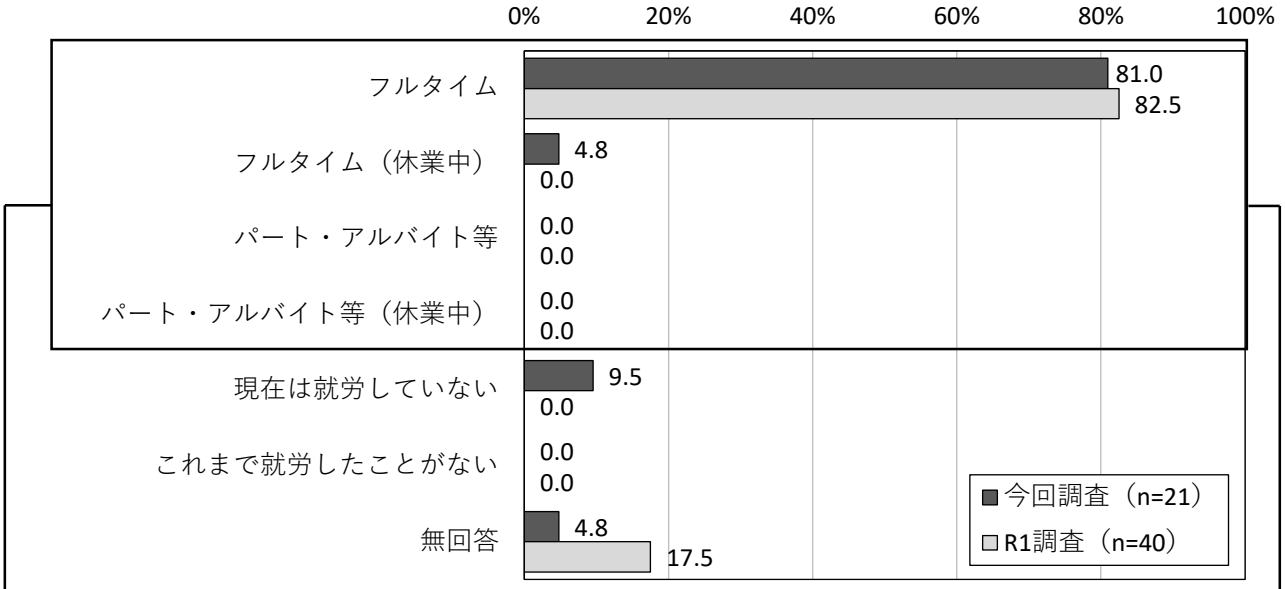
２　父親の就労状況と職場の両立支援制度について

（１）現在の就労状況

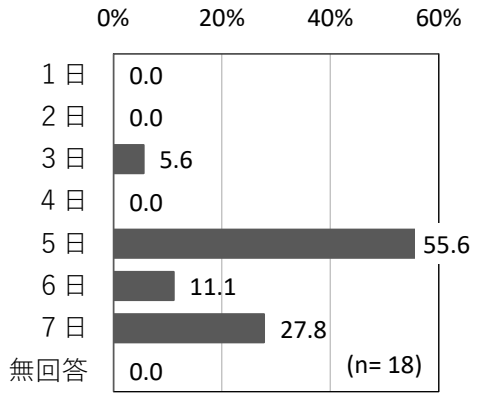
父親の現在の就労状況は、「フルタイム」（休業中を含む）が85.8%を占めています。

現在、就労している父親の１週あたりの就労日数は「５日」（55.6%）、１日あたりの就労時間は「10時間以上」（50.0%）が最多回答となっています。

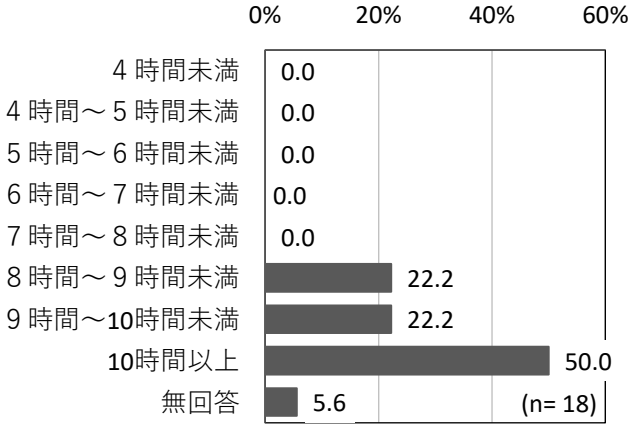
≪現在の就労状況（父親）≫



≪１週あたりの就労日数（父親）≫



≪１日あたりの就労時間（父親）≫



（２）今後の就労意向等

①パート・アルバイト等で就労している父親のフルタイムへの転換希望

パート・アルバイト等で就労していると回答した父親はいませんでした。

②未就労の父親の就労希望、希望する就労形態等

未就労の父親（２人）に就労希望をうかがったところ、「すぐにでも、または１年以内に就労したい」が100.0%でした。

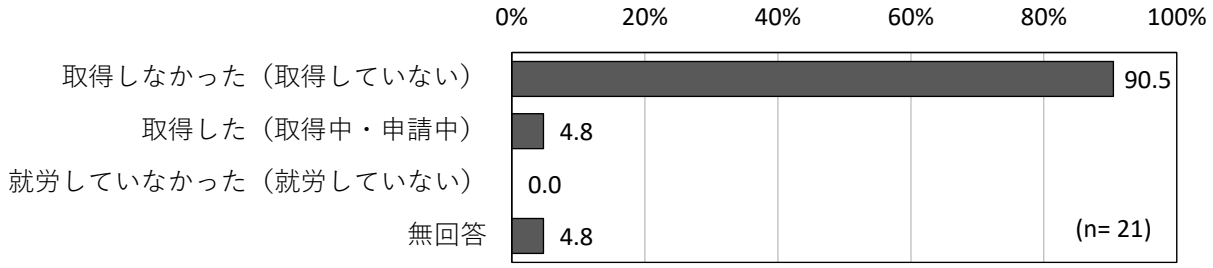
また、「すぐにでも、または１年以内に就労したい」と回答した２人は、「フルタイムで就労を希望」しています。

③お子さんが何歳になったら就労したいか

「１年以上先に、子どもがある程度大きくなったら就労したい」と回答した父親はいませんでした。

（３）育児休業の取得状況

父親の育児休業取得状況は、「取得しなかった（取得していない）」が90.5%を占めており、「取得した（取得中・申請中）」は4.8%（１人）でした。



（４）育児休業取得期間について

育児休業を取得した父親（１人）に、お子さんが１歳になったときに誰でも利用できる預かり保育があった場合、１歳までに職場復帰したいかうかがったところ、「預かりがあるなら、１歳になるまで育児休業を取得したい」と回答しています。

また、育児休業を何歳まで取りたかったか（３歳までの範囲で）をうかがったところ、「２歳」までと回答しています。

３　母親の就労状況と職場の両立支援制度について

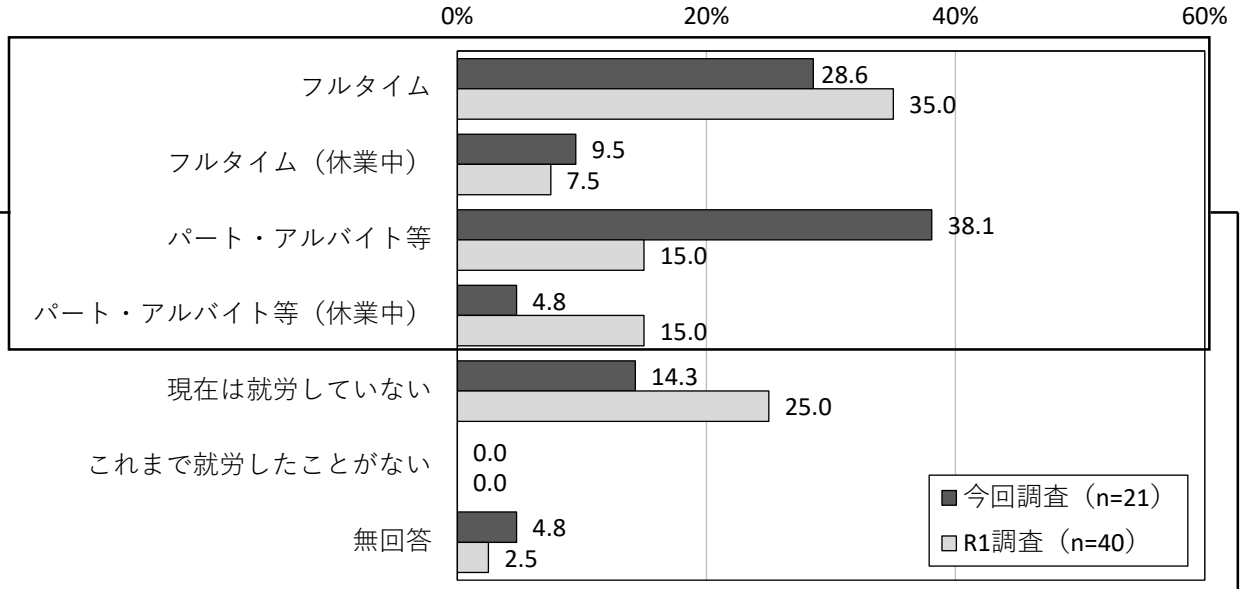
（１）現在の就労状況

母親の現在の就労状況は、「フルタイム」（休業中を含む）が38.1％、「パート・アルバイト等」（休業中を含む）が42.9％となっています。また、「現在は就労していない」「これまで就労したことがない」の合計は14.3％です。

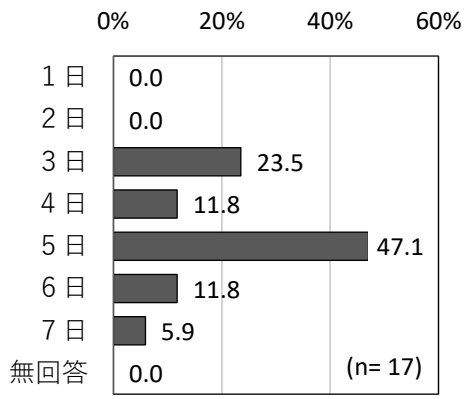
前回調査と比較すると「パート・アルバイト等」（休業中を含をむ）は12.9ポイント増加し、「現在は就労していない」は10.7ポイント減少しています。

現在、就労している母親の１週あたりの就労日数は「５日」が47.1％、１日あたりの就労時間は「８時間～９時間未満」が35.3％で最も多くなっています。

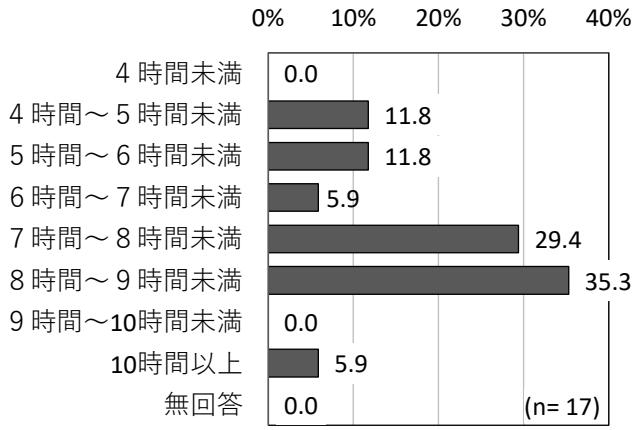
≪現在の就労状況（母親）≫



≪１週あたりの就労日数（母親）≫



≪１日あたりの就労時間（母親）≫

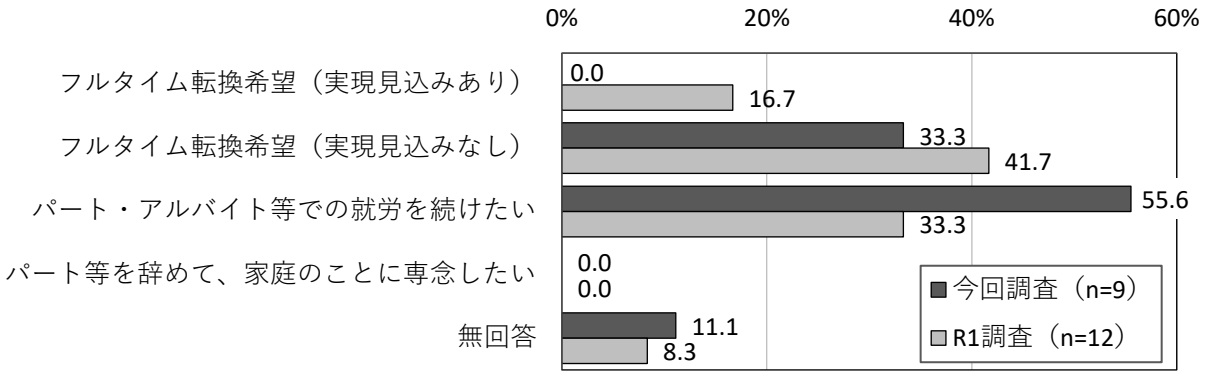


（２）今後の就労意向等

①パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望

パート・アルバイト等で就労している母親にフルタイムへの転換希望をうかがったところ、「パート・アルバイト等での就労を続けたい」が55.6%（５人）で最も多くなっています。フルタイムへの転換を希望する人は、「実現見込みあり」が0.0%、「実現見込みなし」が33.3%（３人）でした。

前回調査と比較すると「パート・アルバイト等での就労を続けたい」が22.3ポイント増加しています。

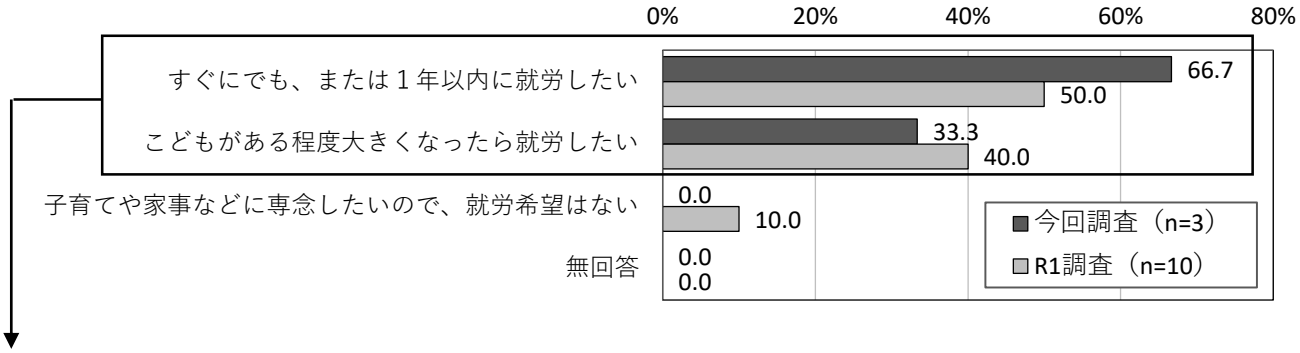


②未就労の母親の就労意向、希望する就労形態等

未就労の母親に就労意向をうかがったところ、「すぐにでも、または１年以内に就労したい」が66.7%（２人）で最も多く、次いで「こどもがある程度大きくなったら就労したい」が33.3%（１人）でした。

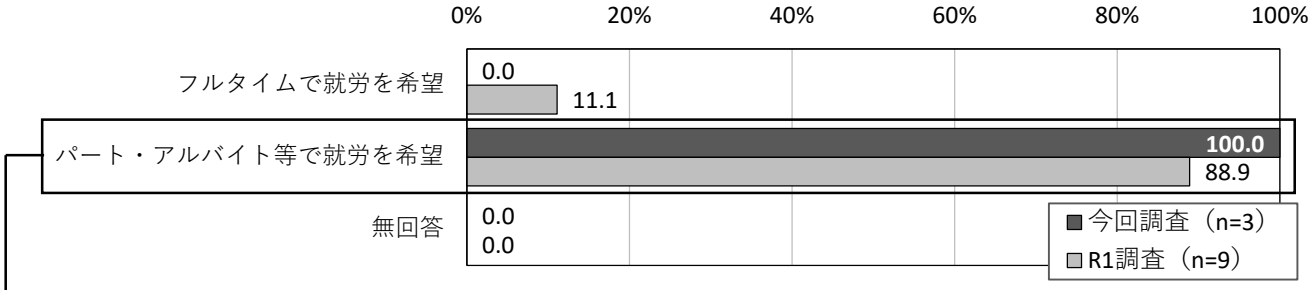
続いて、就労意向のある母親３人に希望する就労形態をうかがったところ、全員が「パート・アルバイト等で就労を希望」しています。また、その希望する１週あたりの就労日数は「４日」（66.7%・２人）、１日あたりの就労時間は「５時間～６時間未満」「６時間～７時間未満」（ともに33.3%・１人）となっています。

≪今後の就労意向（未就労の母親）≫

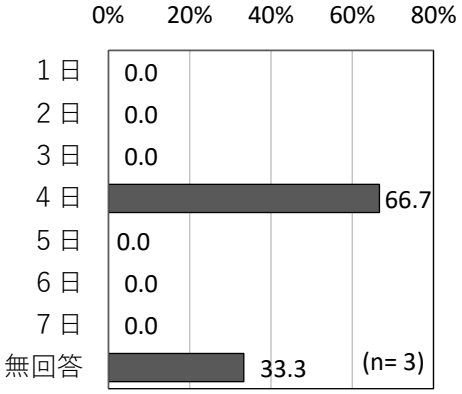


「希望する就労形態」「希望就労日数と希望就労時間」は次ページへ

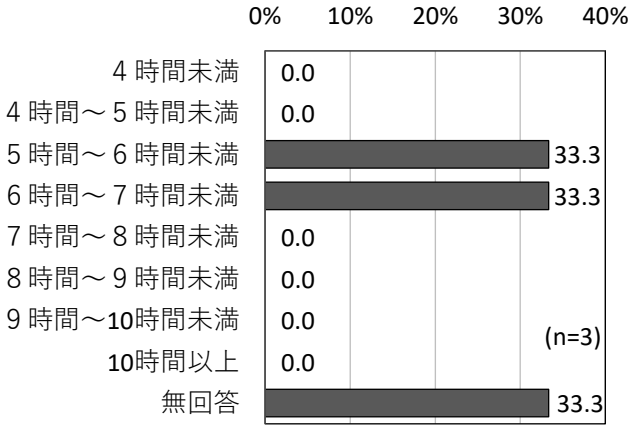
≪希望する就労形態（未就労の母親）≫



≪１週あたりの希望就労日数≫



≪１日あたりの希望就労時間≫

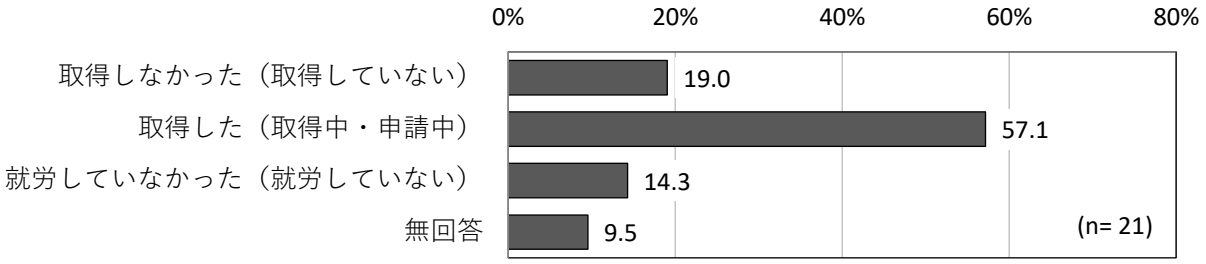


③こどもが何歳になったら就労したいか

「こどもがある程度大きくなったら就労したい」と回答した母親（１人）に、お子さんが何歳になったら就労したいかうかがったところ、「６歳」と回答しています。

（３）育児休業の取得状況

母親の育児休業取得状況は、「取得した（取得中・申請中）」が57.1％で最も多くなっています。一方、「取得しなかった（取得していない）」という回答も19.0％（４人）ありました。

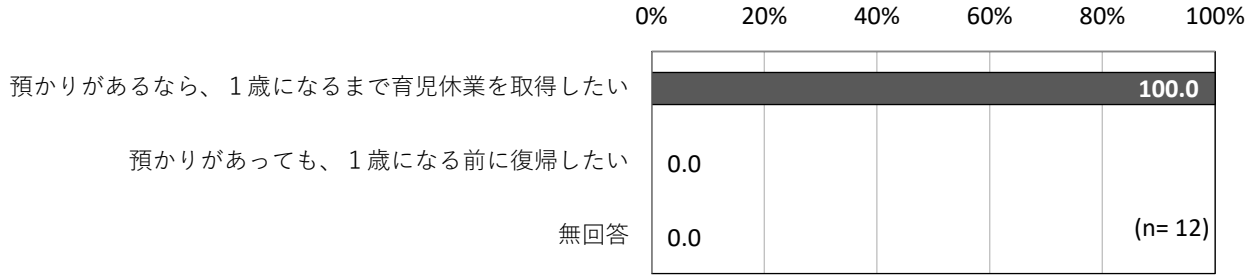


（４）育児休業取得期間について

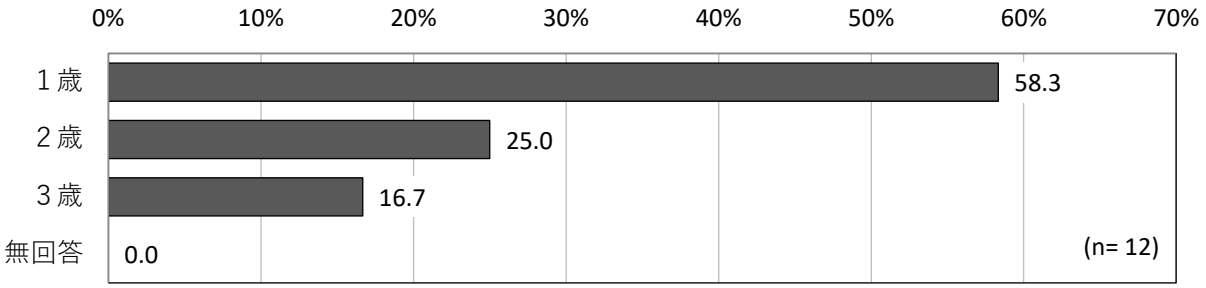
育児休業を取得した母親に、お子さんが１歳になったときに誰でも利用できる預かり保育があった場合、１歳までに職場復帰したいかうかがったところ、全員が「預かりがあるなら、１歳になるまで育児休業を取得したい」と回答しています。

また、育児休業を何歳まで取りたかったか（３歳までの範囲で）をうかがったところ、「１歳」までという回答が58.3％で最も多くなっています。

≪お子さんが１歳になるまでに職場復帰を希望するか≫



≪お子さんが何歳になるまで育児休業を取りたかったか（３歳までの範囲で）≫



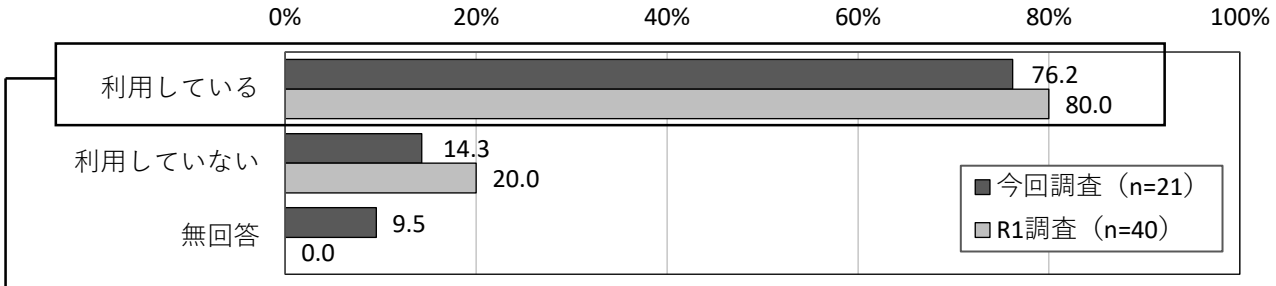
4　平日の定期的な教育・保育事業の利用について

（1）現在の教育・保育事業の利用状況

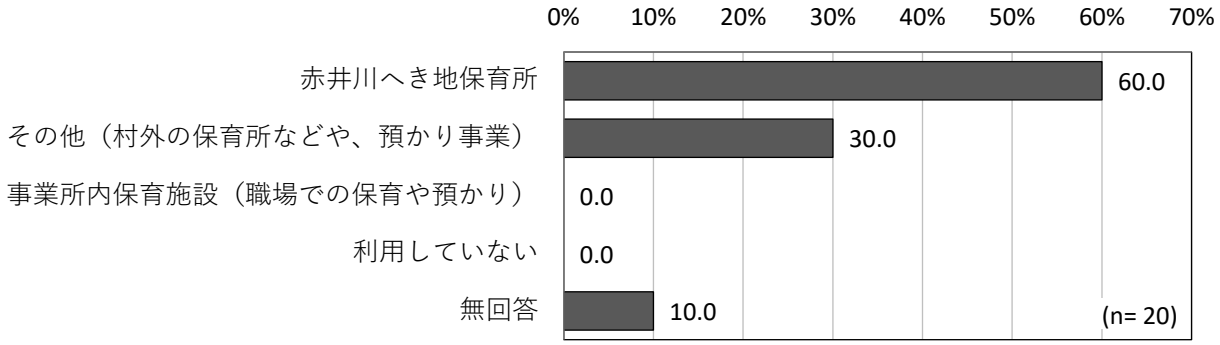
現在、平日の定期的な教育・保育事業を「利用している」と回答した人は76.2%でした。

利用している教育・保育事業は、「赤井川へき地保育所」が60.0%、「その他（村外の保育所などや、預かり事業）」が30.0%となっています。

≪平日の定期的な教育・保育事業の利用状況≫



≪現在利用している教育・保育事業≫複数回答

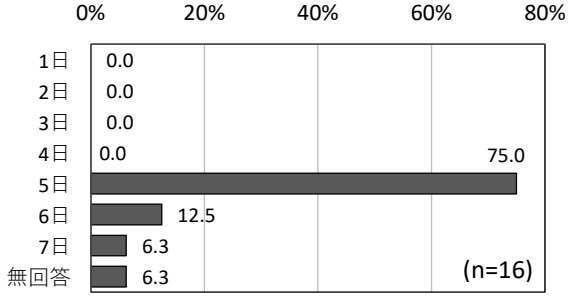


（2）教育・保育事業の利用日数と時刻

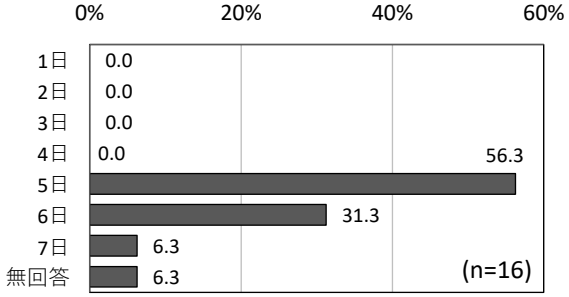
平日の定期的な教育・保育事業の現在の利用状況をうかがったところ、利用日数は「５日」（75.0%）、利用開始時刻は「８時台」（75.0%）、利用終了時刻は「17時台」（62.5%）が最も多くなっています。

続いて、今後の利用希望をうかがったところ、希望する利用日数は「５日」（56.3%）、利用開始時刻は「８時台」（68.8%）、利用終了時刻「18時台」（75.0%）が最も多くなっています。

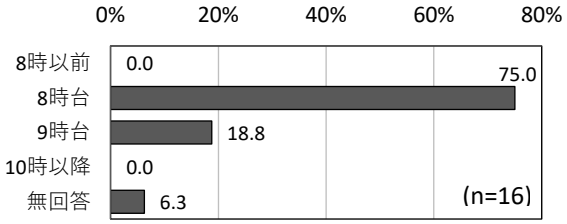
≪現在の利用日数≫



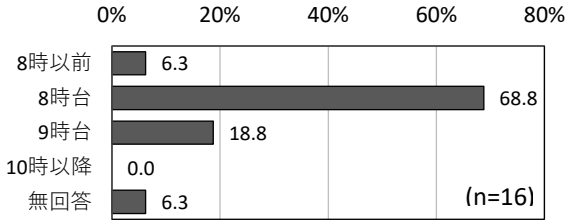
≪希望する利用日数≫



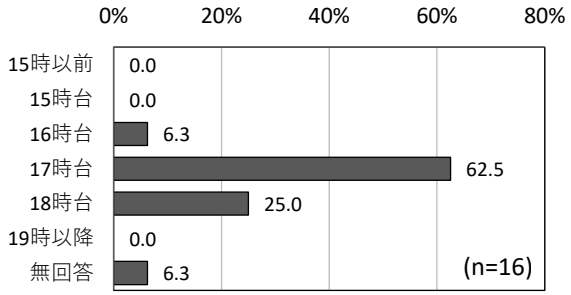
≪現在の利用開始時刻≫



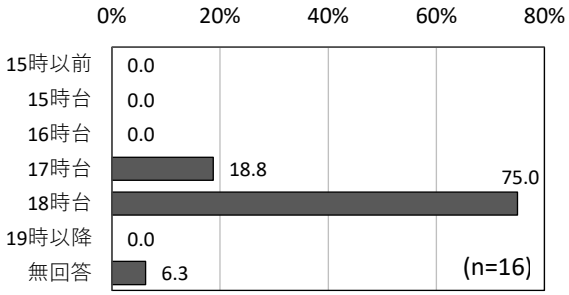
≪希望する利用開始時刻≫



≪現在の利用終了時刻≫



≪希望する利用終了時刻≫

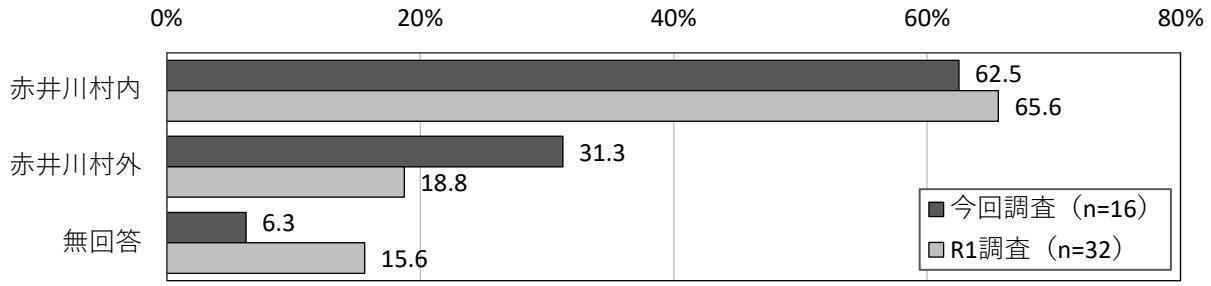


（3）現在利用している教育・保育事業の実施場所

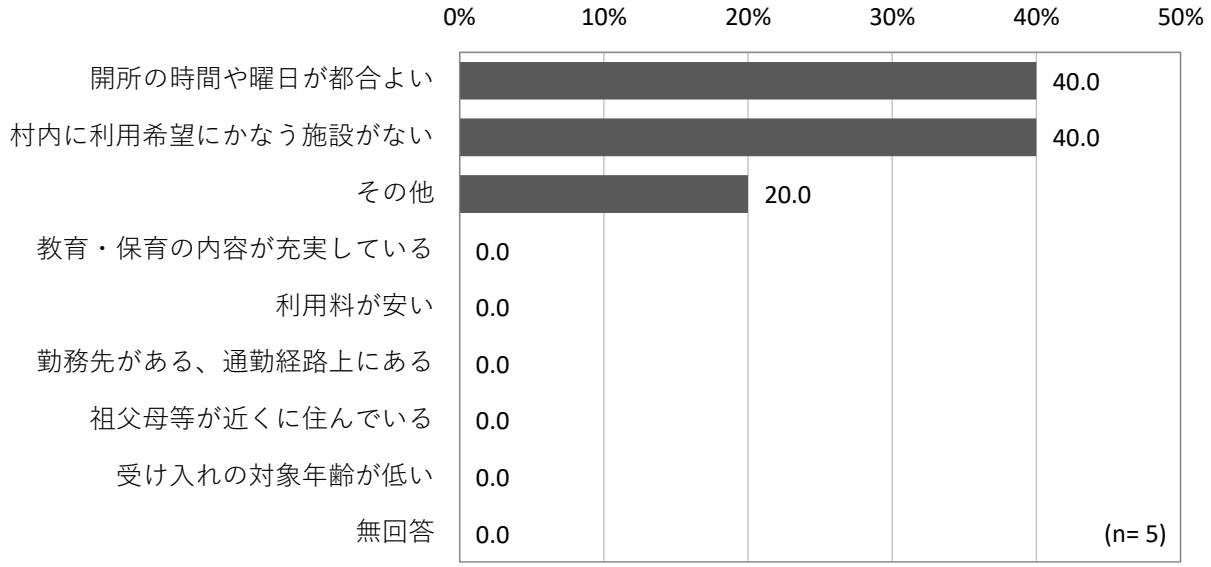
現在、利用している教育・保育事業の実施場所は、「赤井川村内」が62.5%、「赤井川村外」は31.3%となっています。

また、赤井川村外で利用している理由は、「開所の時間や曜日が都合よい」「村内に利用希望にかなう施設がない」がともに40.0%（2人）で最も多くなっています。

≪利用している教育・保育事業の実施場所≫



≪赤井川村外で利用している理由≫複数回答



「その他の理由」の内容

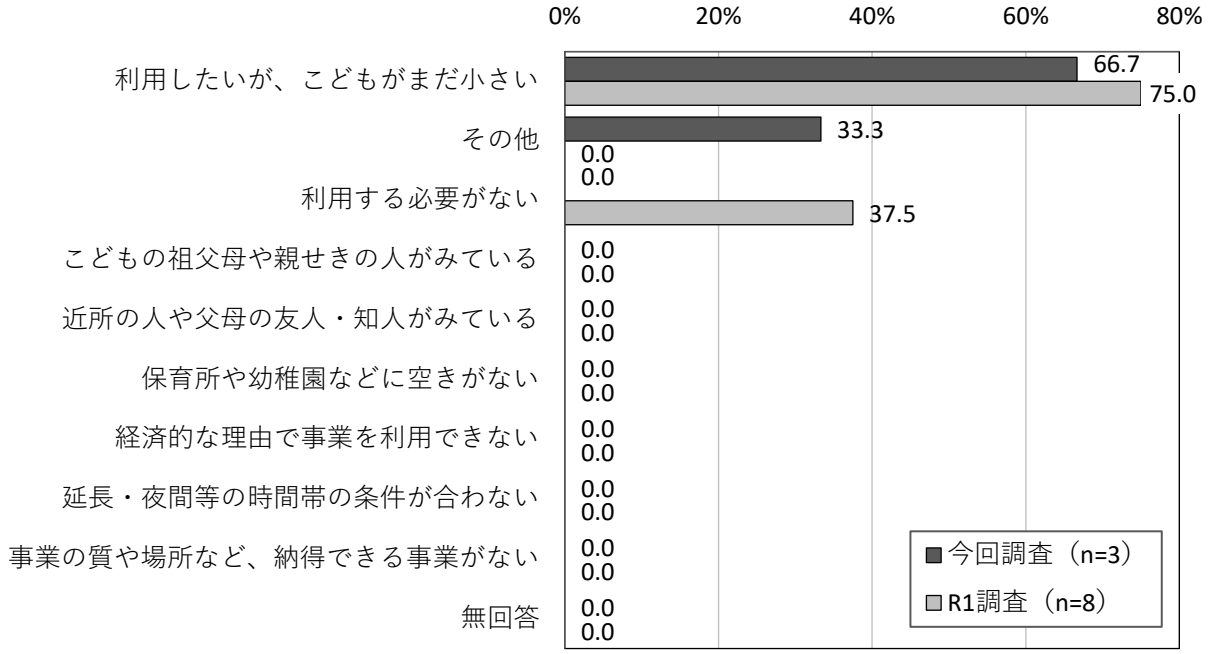
・保育の質と信用

（4）教育・保育事業を利用していない理由等

平日の定期的な教育・保育事業を利用していない人にその理由をうかがったところ、「利用したいが、こどもがまだ小さい」が66.7%、「その他」が33.3%となっています。

また、「利用したいが、こどもがまだ小さい」と回答した２人に、子どもが何歳になったら教育・保育事業を利用したいかうかがったところ、全員が「１歳」と回答しています。

≪定期的に教育・保育事業を利用していない理由≫複数回答



「その他の理由」の内容

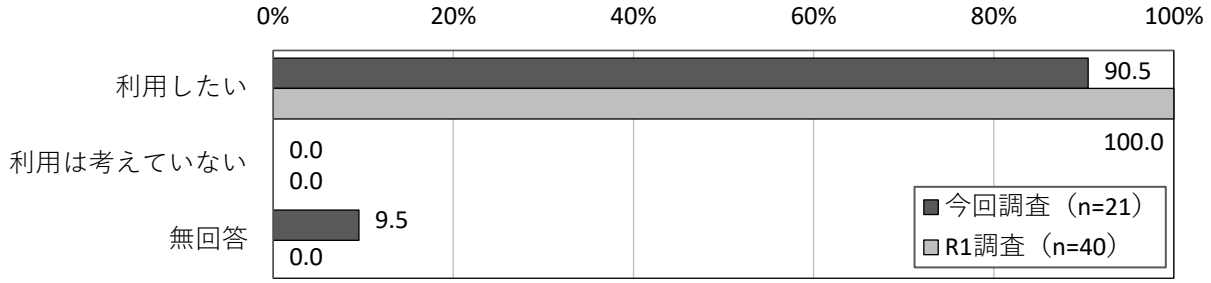
・2 歳になる歳じゃないと保育所に入れない

（5）今後の教育・保育事業の利用意向

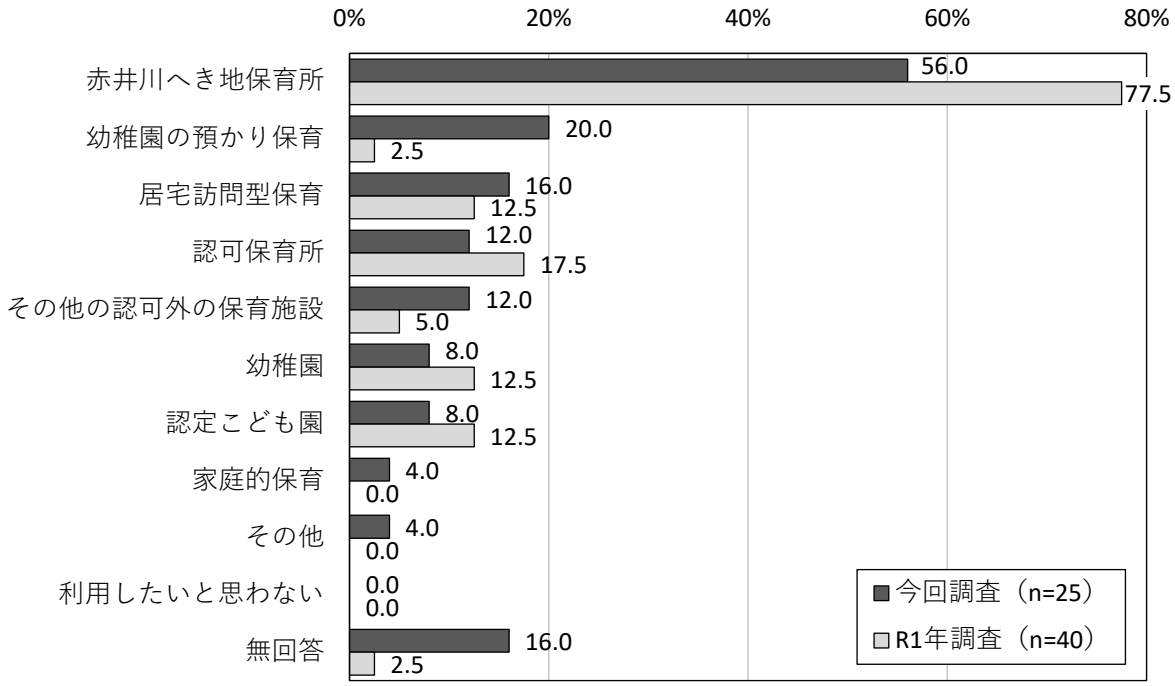
今後、平日の定期的な教育・保育事業を「利用したい」と回答した人は90.5%でした。

今後、利用したい教育・保育事業は、「赤井川へき地保育所」が56.0%で最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」（20.0%・５人）、「居宅訪問型保育」（16.0%・４人）が続いています。

≪今後の定期的な教育・保育事業の利用意向≫



≪今後利用したい教育・保育事業≫複数回答

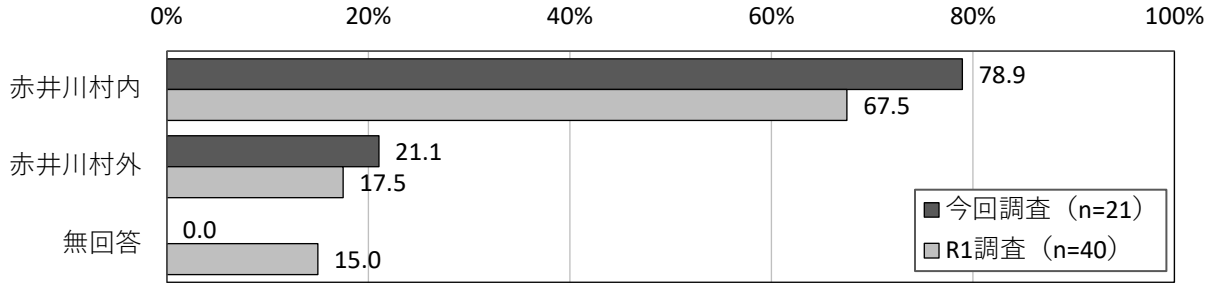


（６）今後利用したい教育・保育事業の実施場所

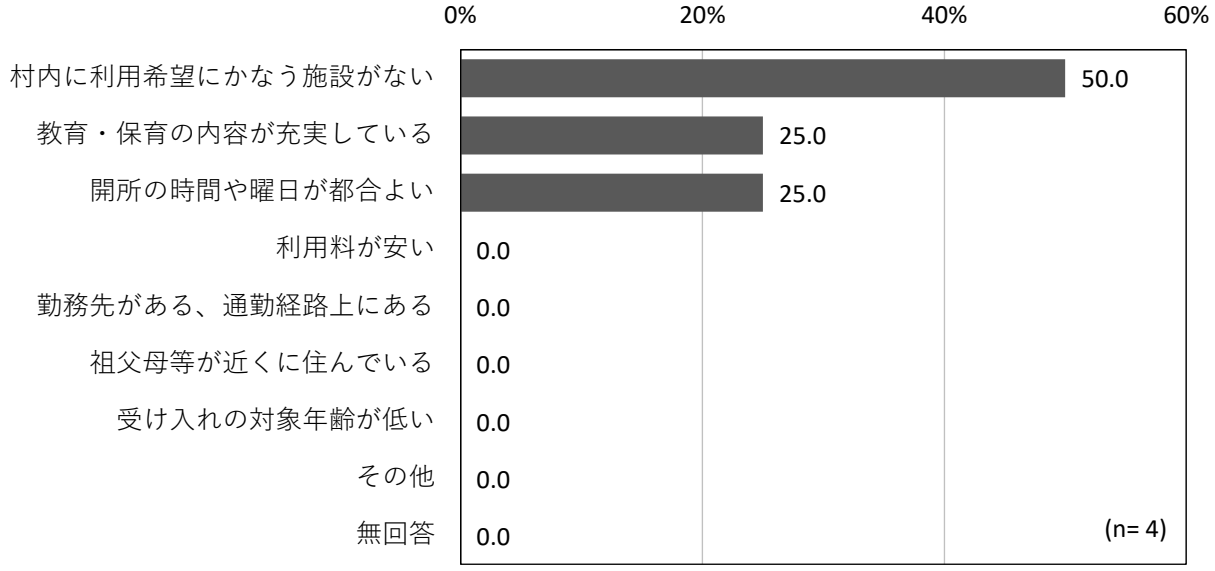
今後、利用したい教育・保育事業の実施場所は、「赤井川村内」が78.9%、「赤井川村外」が21.1%（４人）でした。

赤井川村外を希望する理由は「村内に利用希望にかなう施設がない」（50.0%・２人）、「教育・保育の内容が充実している」「開所の時間や曜日が都合よい」（ともに25.0%・１人）となっています。

≪今後希望する教育・保育事業の実施場所≫



≪村外を希望する理由≫複数回答



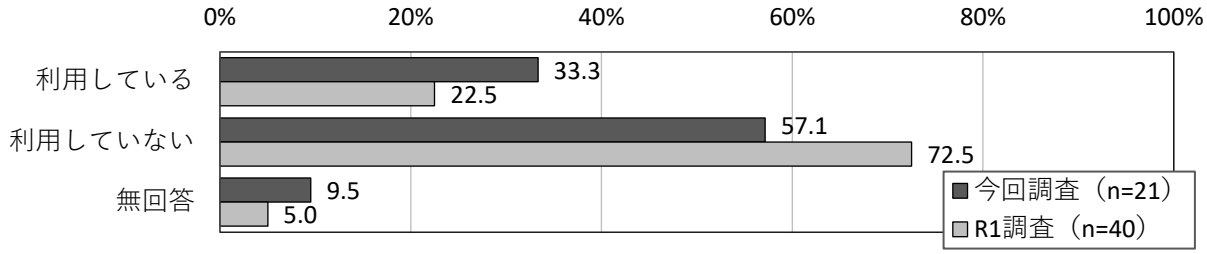
5　地域の子育て支援事業等の利用について

（1）地域子育て支援拠点事業等の利用状況

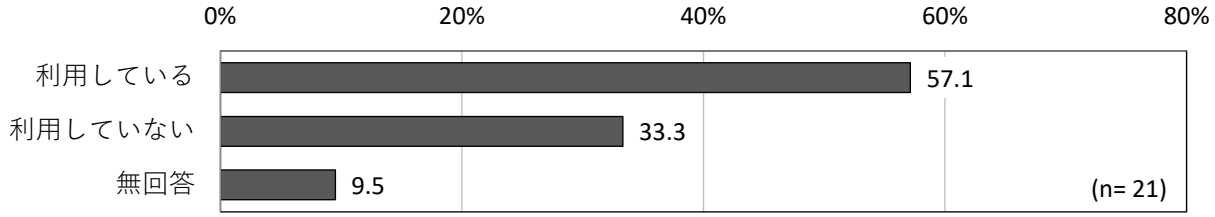
地域子育て支援拠点事業ひよこの会を「利用している」人は33.3%となっています。

また、村で実施しているその他の活動を「利用している」人は57.1%で、1か月あたりの利用回数はいずれも「1～2回」でした。

≪ひよこの会の利用状況≫



≪村で実施しているその他の活動の利用状況≫



「村で実施しているその他の活動」の名称

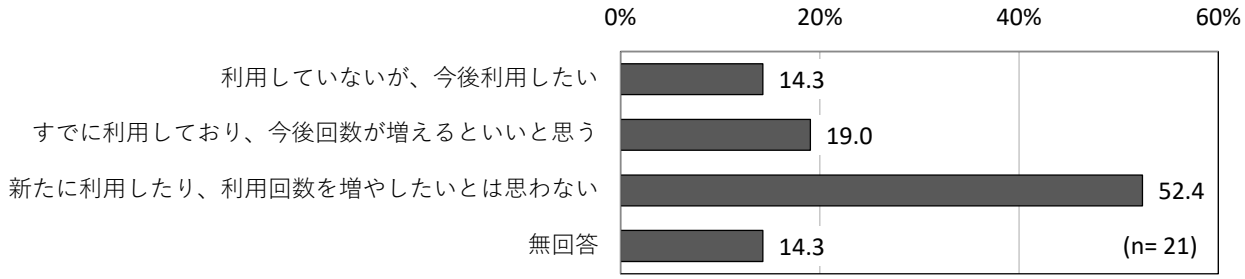
・こっこクラブ（９人）　・区会（集まり、交流会等）（４人）

・町内会の集まり（１人）　・ＰＴＡの集まり（１人）

（2）今後の「ひよこの会」の利用意向

ひよこの会を「利用していないが、今後利用したい」は14.3%（３人）で、希望する１か月あたりの利用回数は「１～２回」が２人、もう１人は無回答でした。

ひよこの会を「すでに利用しており、今後回数が増えるといいと思う」は19.0%（４人）で、希望する１か月あたりの利用回数は「１～２回」が３人、もう１人は無回答でした。



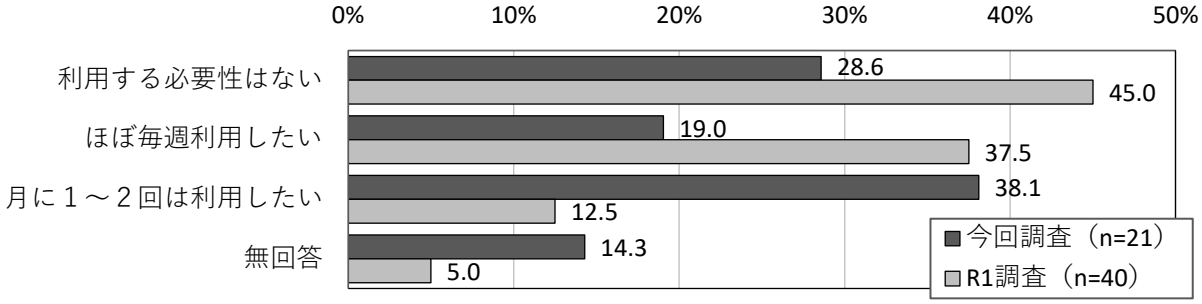
６　平日以外の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

（１）土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望

土曜日の定期的な教育・保育事業を「ほぼ毎週利用したい」「月に１～２回は利用したい」の合計は57.1%で、約６割に利用意向がみられます。

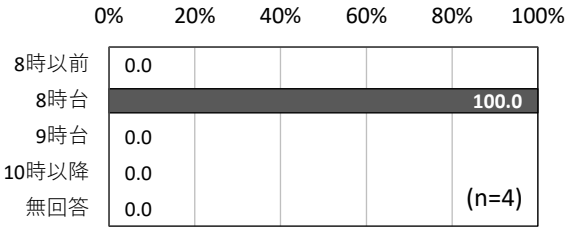
ほぼ毎週利用したいと回答した人の希望する利用開始時刻は「８時台」、利用終了時刻は「18時台」（ともに100.0%）でした。次に、月に１～２回は利用したいと回答した人の希望する利用開始時刻は「８時台」（87.5%・７人）、利用終了時刻は「17時台」（87.5%・７人）となっています。

≪土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望≫

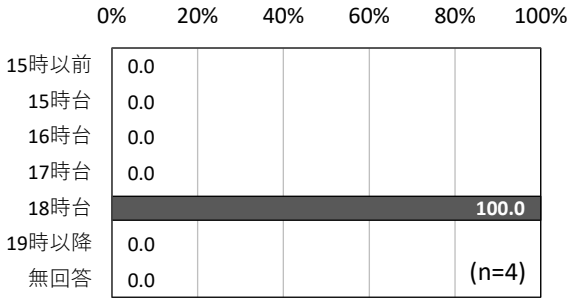


■ほぼ毎週利用したい（土曜日）

≪希望開始時刻≫

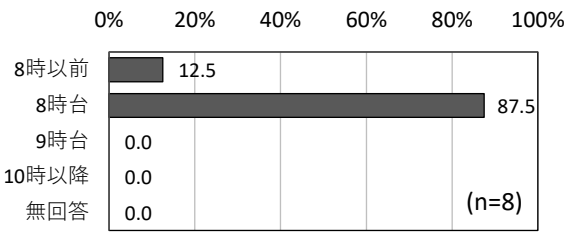


≪希望終了時刻≫



■月に１～２回は利用したい（土曜日）

≪希望開始時刻≫



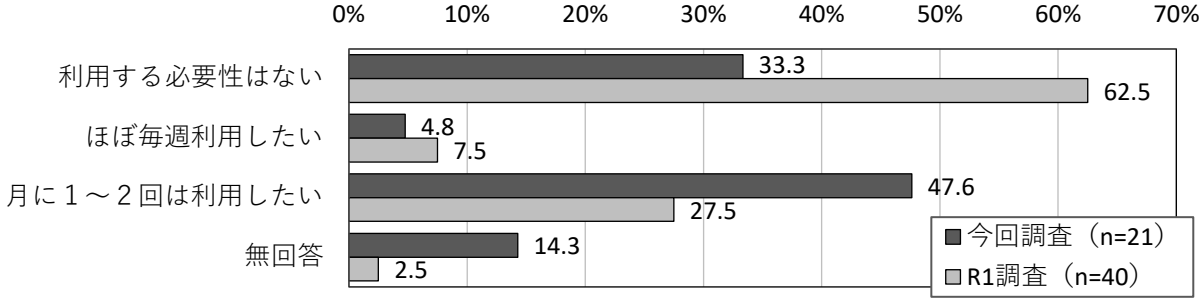
≪希望終了時刻≫

（２）日曜・祝日の教育・保育事業の利用意向

日曜・祝日の定期的な教育・保育事業を「ほぼ毎週利用したい」「月に１～２回は利用したい」の合計は52.4％で、約５割に利用意向がみられます。

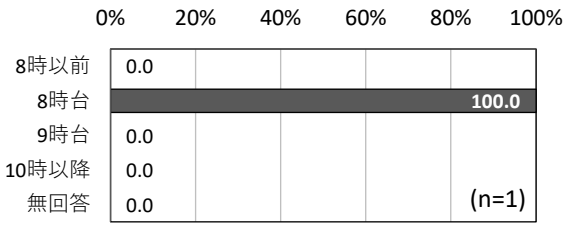
また、ほぼ毎週利用したいと回答した人（１人）が希望する利用開始時刻は「８時台」、利用終了時刻は「18時台」でした。次に、月に１～２回は利用したいと回答した人の希望する利用開始時刻は「８時台」（90.0％・９人）、利用終了時刻は「17時台」（60.0％・６人）となっています。

≪日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望≫

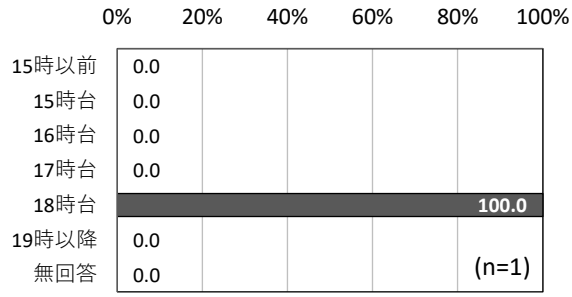


■ほぼ毎週利用したい（日曜・祝日）

≪希望開始時刻≫

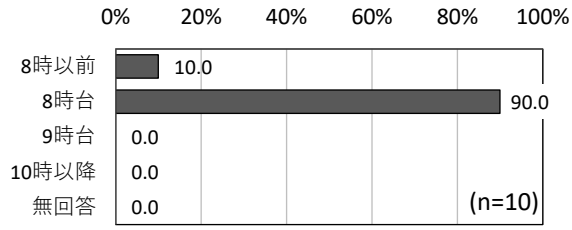


≪希望終了時刻≫

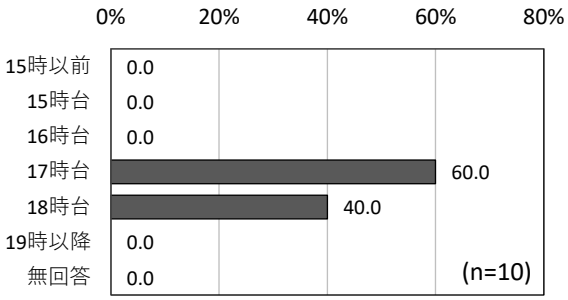


■月に１～２回は利用したい（日曜・祝日）

≪希望開始時刻≫



≪希望終了時刻≫



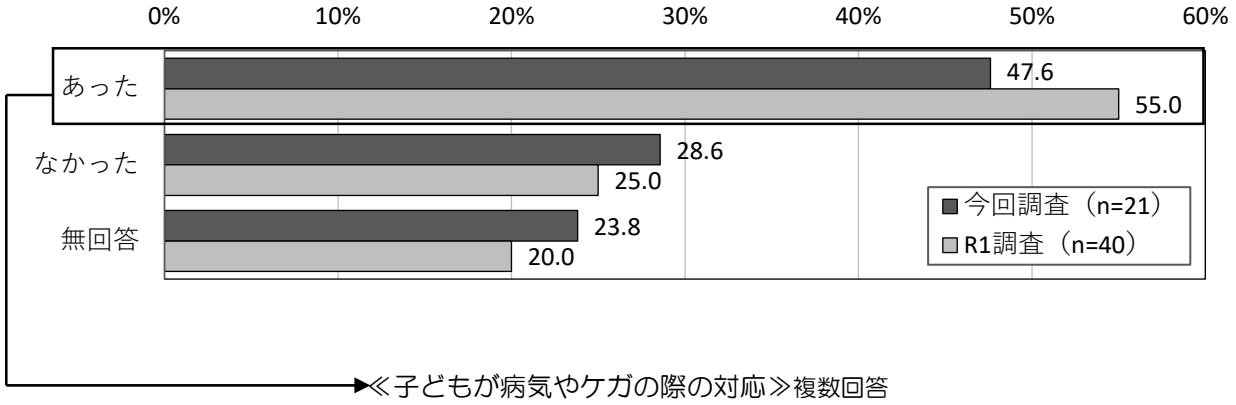
7　お子さんが病気やケガのときの教育・保育事業について

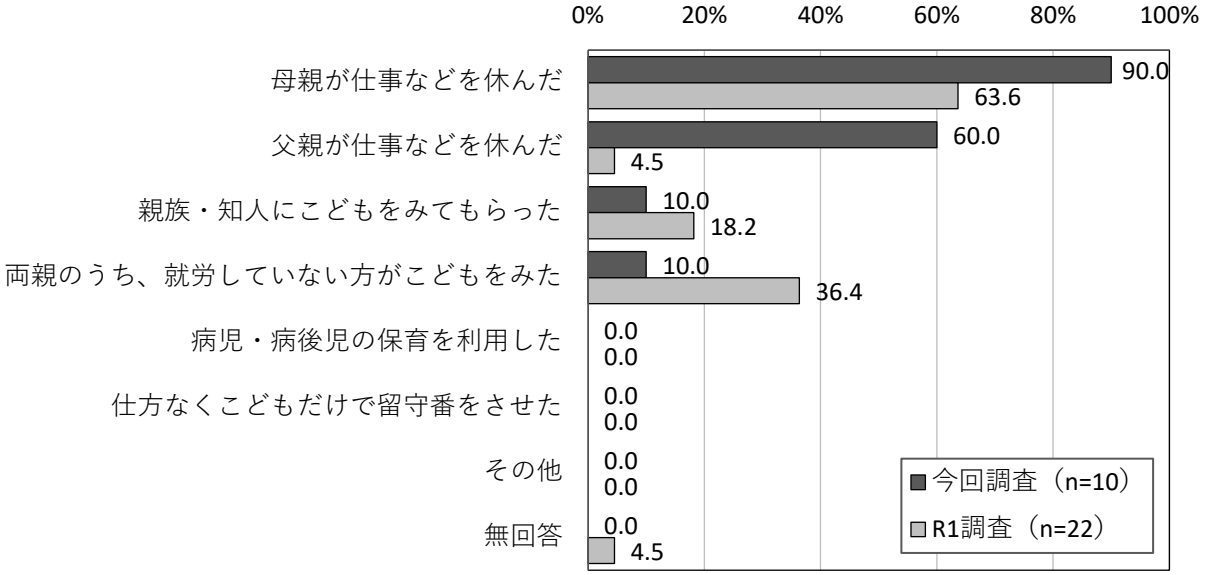
（１）お子さんが病気やケガの際の対応等

この１年間にお子さんが病気やケガで教育・保育事業が利用できなかったことが「あった」と回答した人は47.6%でした。

その際の対応として多かったのは、「母親が仕事などを休んだ」（90.0%・９人）、「父親が仕事などを休んだ」（60.0%・６人）となっています。

≪子どもが病気やケガの際の教育・保育事業を休んだことがあるか≫





（2）お子さんが病気やケガのときに対応した日数

お子さんが病気やケガの際の対応として最も多かった「母親が仕事などを休んだ」の年間対応日数は「16～20日」が44.4%（４人）で最も多くなっています。また、「26～30日」という回答も11.1%（１人）あり、母親の負担の大きさがうかがえます。

「父親が仕事などを休んだ」の年間対応日数は「１～５日」（50.0%・3人）が最も多く、次いで「6～10日」（33.3%・２人）でした。

≪母親が仕事などを休んだ≫

年間対応日数	n	%
1～5 日	0	0.0
6～10 日	2	22.2
11～15 日	2	22.2
16～20 日	4	44.4
21～25 日	0	0.0
26～30 日	1	11.1
31 日以上	0	0.0
無回答	0	0.0
全　体	9	100.0

≪父親が仕事などを休んだ≫

年間対応日数	n	%
1～5 日	3	50.0
6～10 日	2	33.3
11～15 日	0	0.0
16～20 日	0	0.0
21～25 日	0	0.0
26～30 日	0	0.0
31 日以上	0	0.0
無回答	1	16.7
全　体	6	100.0

≪就労していない方の保護者が子どもをみた≫

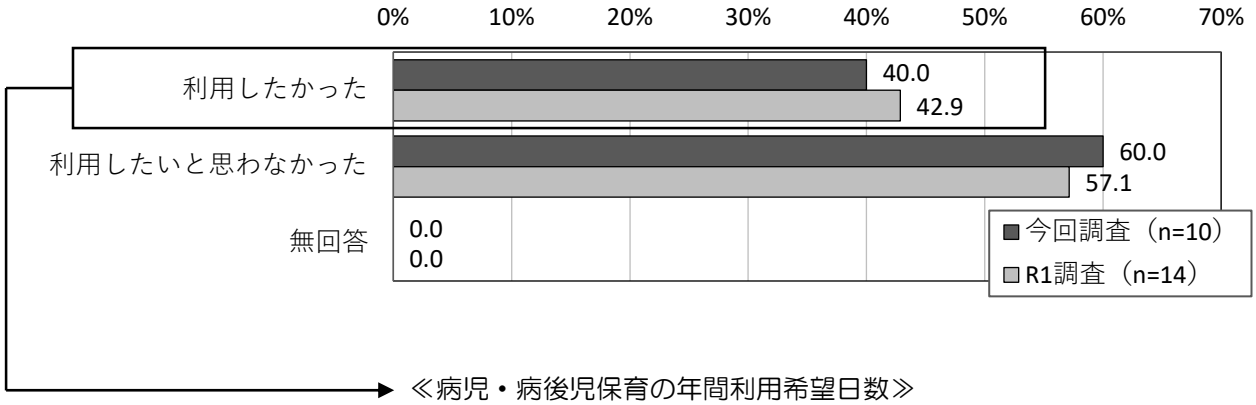
年間対応日数	n	%
1～5 日	0	0.0
6～10 日	1	100.0
11～15 日	0	0.0
16～20 日	0	0.0
21～25 日	0	0.0
26～30 日	0	0.0
31 日以上	0	0.0
無回答	0	0.0
全　体	1	100.0

※網掛け部はそれぞれの中で回答者が一番多い項目

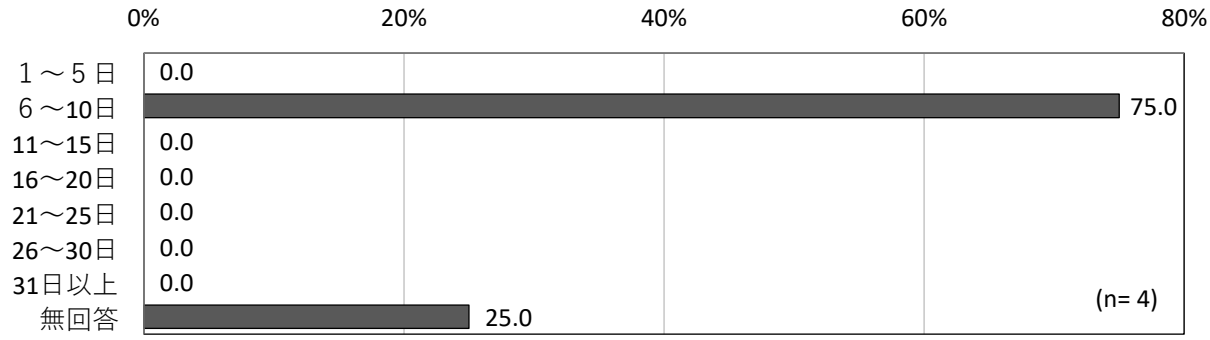
（３）病児・病後児保育の利用意向

子どもが病気やケガの際に「父親が仕事などを休んだ」「母親が仕事などを休んだ」と回答した人に病児・病後児保育施設等の利用意向をうかがったところ、「利用したかった」と回答した人は40.0%（４人）で、その希望する年間利用日数は「６～10日」（75.0%・３人）が最も多くなっています。

≪子どもが病気やケガの際、病児・病後児保育を利用したいと思ったか≫



≪病児・病後児保育の年間利用希望日数≫



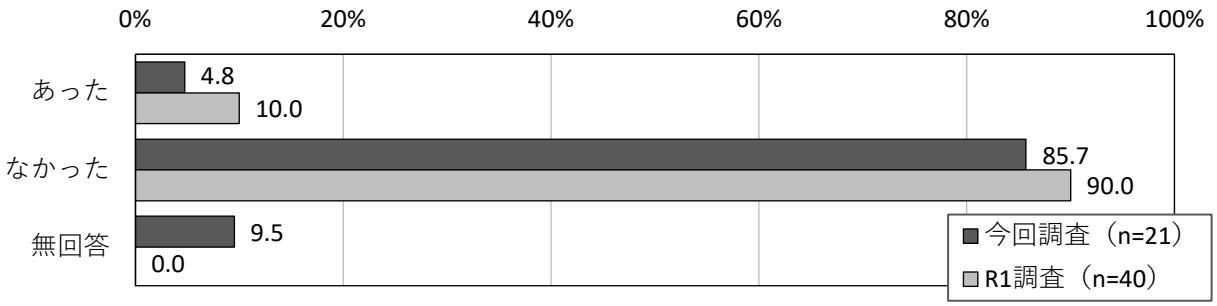
８　不定期の教育・保育事業やショートステイ等の利用について

（１）一時預かり事業の利用状況

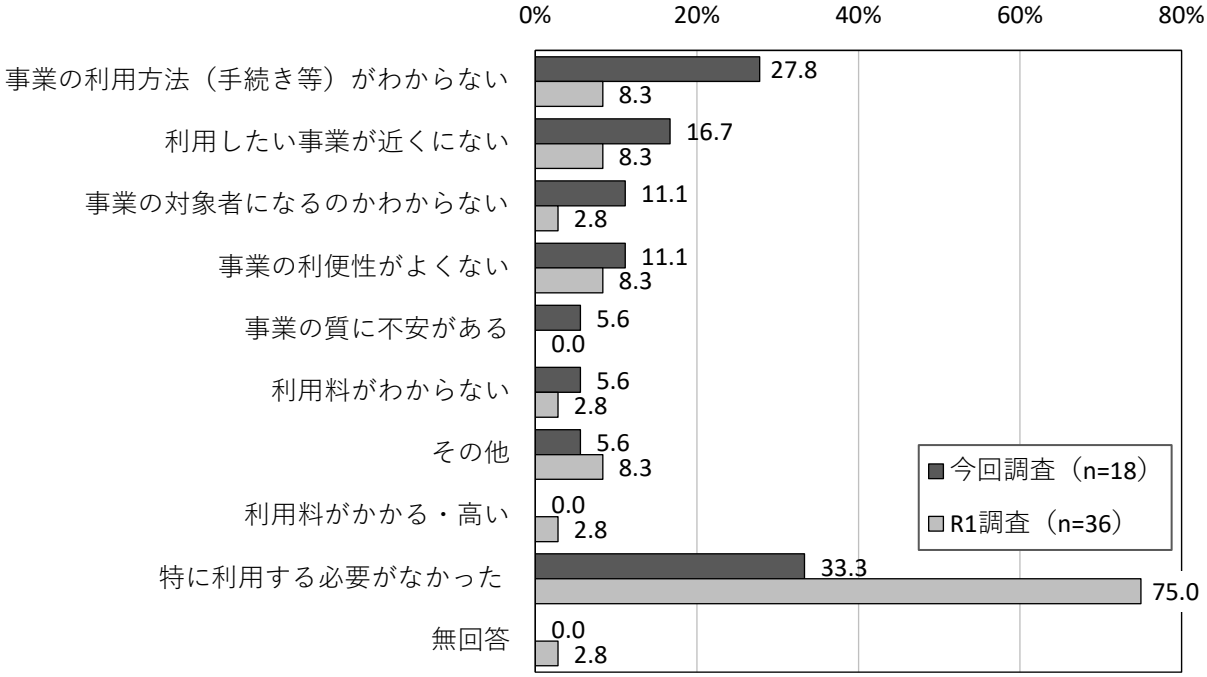
この一年間に不定期な一時預かり事業を利用したことが「あった」と回答した人は4.8%（１人）で、その利用した事業は「一時保育（保育所や保育ルームなど）」でした。また、その年間利用日数については回答がありませんでした。

一方、不定期な一時預かり事業を利用したことが「なかった」と回答した人は85.7%で、その理由は、「特に利用する必要がなかった」が33.3%（６人）で最も多く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」（27.8%・５人）、「利用したい事業が近くにない」（16.7%・３人）が続いています。

≪一時預かり事業を利用したことがあったか≫



≪一時預かり事業を利用しなかった理由≫複数回答

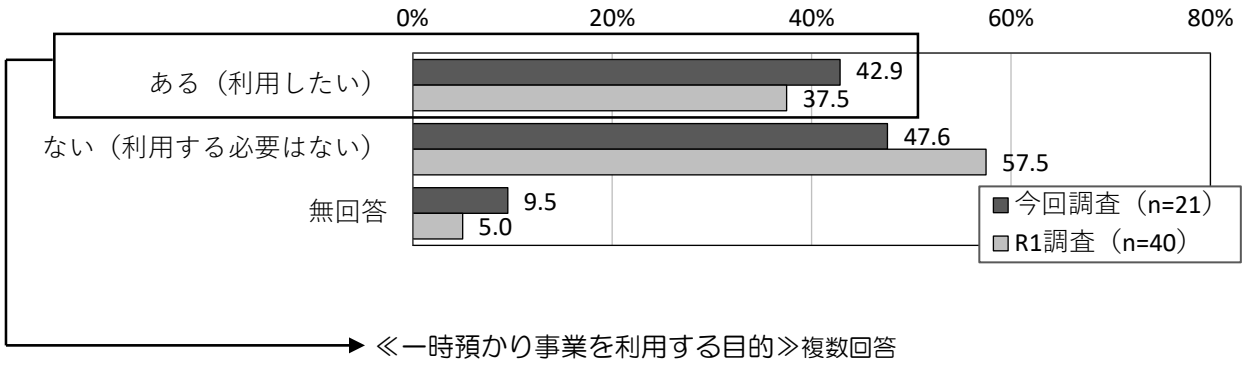


（２）今後の一時預かり事業の利用意向等

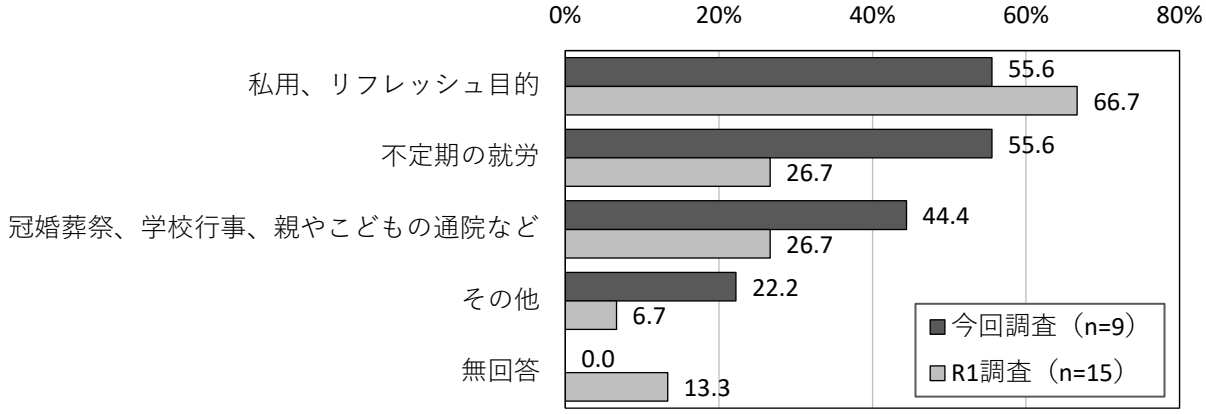
今後、不定期な一時預かり事業を利用する必要が「ある（利用したい）」と回答した人は42.9%となっています。

その利用の目的は、「私用、リフレッシュ目的」「不定期の就労」がともに55.6%（５人）で最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、親や子どもの通院など」（44.4%・４人）となっています。

≪一時預かり事業を利用する必要があるか≫



≪一時預かり事業を利用する目的≫複数回答



（3）一時預かり事業の目的別年間利用希望日数

「私用、リフレッシュ目的」のために一時預かり事業の利用を希望する日数（年間）は、「11～15日」が80.0%（４人）で最も多くなっています。

「不定期の就労」のために一時預かり事業の利用を希望する日数（年間）は、「11～15日」「16～20日」「21～25日」「26～30日」がいずれも20.0%（１人）でした。

「冠婚葬祭、学校行事、親等の通院」のために一時預かり事業の利用を希望する日数（年間）は、「1～5日」が75.0%（３人）で最も多くなっています。

≪私用、リフレッシュ目的≫

年間希望日数	n	%
1～5 日	1	20.0
6～10 日	0	0.0
11～15 日	4	80.0
16～20 日	0	0.0
21～25 日	0	0.0
26～30 日	0	0.0
31 日以上	0	0.0
無回答	0	0.0
全　体	5	100.0

≪不定期の就労≫

年間希望日数	n	%
1～5 日	0	0.0
6～10 日	0	0.0
11～15 日	1	20.0
16～20 日	1	20.0
21～25 日	1	20.0
26～30 日	1	20.0
31 日以上	0	0.0
無回答	1	20.0
全　体	5	100.0

≪冠婚葬祭、学校行事、親等の通院≫

年間希望日数	n	%
1～5 日	3	75.0
6～10 日	0	0.0
11～15 日	1	25.0
16～20 日	0	0.0
21～25 日	0	0.0
26～30 日	0	0.0
31 日以上	0	0.0
無回答	0	0.0
全　体	4	100.0

≪その他≫

年間希望日数	n	%
1～5 日	1	50.0
6～10 日	0	0.0
11～15 日	0	0.0
16～20 日	0	0.0
21～25 日	0	0.0
26～30 日	0	0.0
31 日以上	0	0.0
無回答	1	50.0
全　体	2	100.0

※網掛け部はそれぞれの中で回答者が一番多い項目

「その他の利用目的」の内容

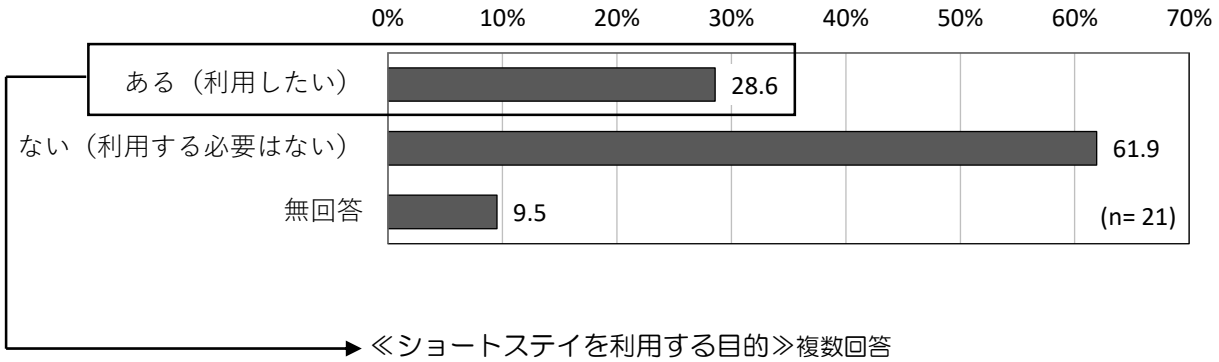
- 通常の施設が利用できなかったとき
- 会議、勉強会への出席

（4）ショートステイの利用意向等

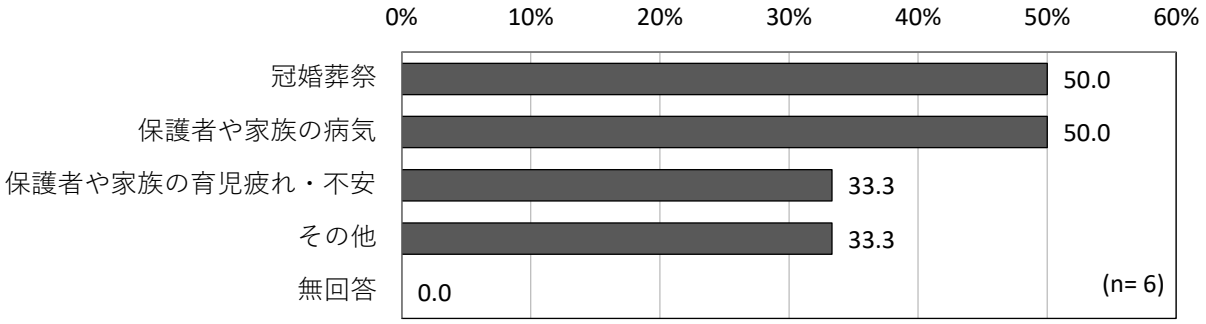
宿泊を伴う預かり事業（ショートステイ）を利用する必要が「ある（利用したい）」と回答した人は28.6%（６人）でした。

また、その利用の目的は「冠婚葬祭」「保護者や家族の病気」がともに50.0%（３人）となっています。

≪ショートステイを利用する必要があるか≫



≪ショートステイを利用する目的≫複数回答



「その他の利用目的」の内容

・通常の施設が利用できなかったとき

・仕事

（5）ショートステイの年間利用希望日数

「冠婚葬祭」のためにショートステイの利用を希望する日数（年間）は、「１～５日」「６～10日」がともに33.3%（１人）となっています。

「保護者や家族の病気」のためにショートステイの利用を希望する日数（年間）は、「１～5日」が66.7%（２人）、「６～10日」が33.3%（１人）でした。

「保護者等の育児疲れ・不安」のためにショートステイの利用を希望する日数（年間）は、「６～10日」「11～15日」がともに50.0%（１人）でした。

≪冠婚葬祭のための利用≫

年間希望日数	n	%
1～5 日	1	33.3
6～10 日	1	33.3
11～15 日	0	0.0
16～20 日	0	0.0
21～25 日	0	0.0
26～30 日	0	0.0
31 日以上	0	0.0
無回答	1	33.3
全　体	3	100.0

≪保護者や家族の病気のための利用≫

年間希望日数	n	%
1～5 日	2	66.7
6～10 日	1	33.3
11～15 日	0	0.0
16～20 日	0	0.0
21～25 日	0	0.0
26～30 日	0	0.0
31 日以上	0	0.0
無回答	0	0.0
全　体	3	100.0

≪保護者等の育児疲れ・不安のための利用≫

年間希望日数	n	%
1～5 日	0	0.0
6～10 日	1	50.0
11～15 日	1	50.0
16～20 日	0	0.0
21～25 日	0	0.0
26～30 日	0	0.0
31 日以上	0	0.0
無回答	0	0.0
全　体	2	100.0

≪その他の理由による利用≫

年間希望日数	n	%
1～5 日	0	0.0
6～10 日	1	50.0
11～15 日	0	0.0
16～20 日	1	50.0
21～25 日	0	0.0
26～30 日	0	0.0
31 日以上	0	0.0
無回答	0	0.0
全　体	2	100.0

※網掛け部はそれぞれの中で回答者が一番多い項目

９　「小学校入学後の放課後の過ごし方」について

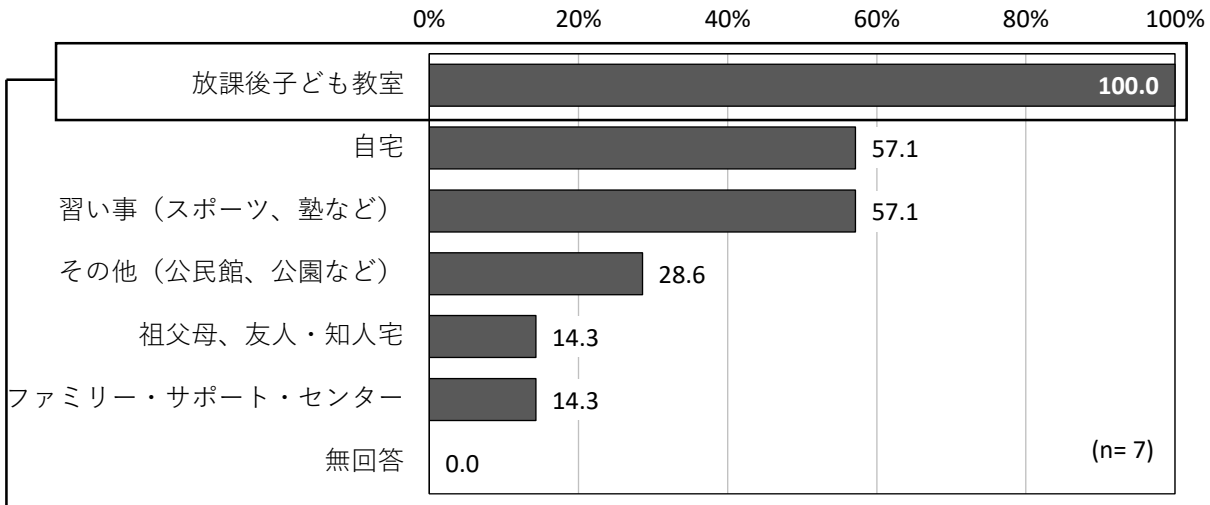
（１）低学年の間の放課後を過ごさせたい場所

５歳のお子さんがいる保護者に対して、小学校低学年の間、放課後を過ごさせたいと考えている場所についてうかがったところ、「放課後子ども教室」が100.0%で最も多く、次いで「自宅」「習い事（スポーツ、塾など）」（ともに57.1%・４人）となっています。

「放課後子ども教室」の1週間あたりの利用希望日数は「３日」（28.6%）、希望終了時刻は「18時台」（42.9%・３人）が最も多くなっています。

「自宅」「習い事（スポーツ、塾など）」の1週間あたりの利用希望日数は、「２日」（75.0%・３人）でした。

≪放課後を過ごさせたい場所（低学年）≫複数回答



≪放課後子ども教室の利用希望日数≫

日　数	n	%
１日	0	0.0
２日	1	14.3
３日	2	28.6
４日	1	14.3
５日	1	14.3
６日	1	14.3
７日	0	0.0
無回答	1	14.3
全　体	7	100.0

≪放課後子ども教室の希望終了時刻≫

終了時刻	n	%
16 時台	1	14.3
17 時台	2	28.6
18 時台	3	42.9
19 時以降	0	0.0
無回答	1	14.3
全　体	7	100.0

※網掛け部はそれぞれの中で回答者が一番多い項目

■放課後を過ごさせたいと考えている１週間あたりの日数（低学年の間）

≪自宅≫

日　数	n	%
１日	0	0.0
２日	3	75.0
３日	0	0.0
４日	0	0.0
５日	0	0.0
６日	0	0.0
７日	0	0.0
無回答	1	25.0
全　体	4	100.0

≪習い事（スポーツ、塾など）≫

日　数	n	%
１日	0	0.0
２日	3	75.0
３日	1	25.0
４日	0	0.0
５日	0	0.0
６日	0	0.0
７日	0	0.0
無回答	0	0.0
全　体	4	100.0

≪祖父母等親族宅≫

日　数	n	%
１日	0	0.0
２日	1	100.0
３日	0	0.0
４日	0	0.0
５日	0	0.0
６日	0	0.0
７日	0	0.0
無回答	0	0.0
全　体	1	100.0

≪その他（公民館、公園など）≫

日　数	n	%
１日	1	50.0
２日	1	50.0
３日	0	0.0
４日	0	0.0
５日	0	0.0
６日	0	0.0
７日	0	0.0
無回答	0	0.0
全　体	2	100.0

※網掛け部はそれぞれの中で回答者が一番多い項目

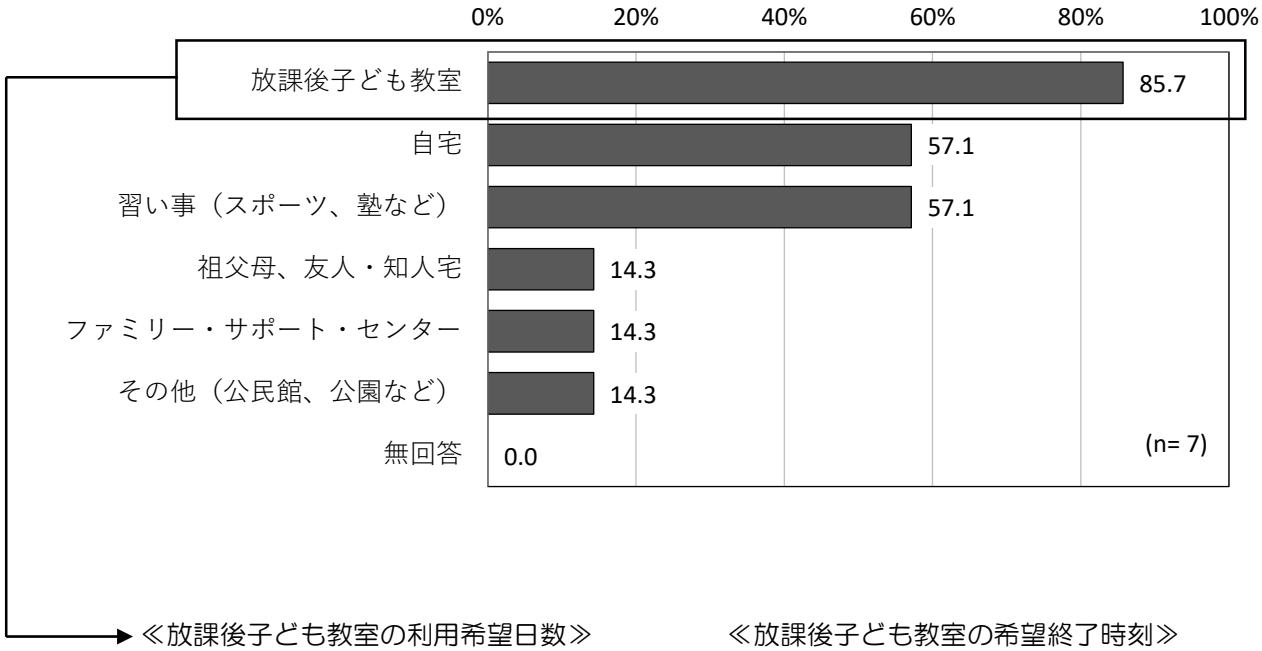
（2）高学年の間に過ごさせたい場所

５歳のお子さんがいる保護者に対して、小学校高学年の間、放課後を過ごさせたいと考えている場所についてうかがったところ、「放課後子ども教室」が85.7%で最も多く、次いで「自宅」「習い事（スポーツ、塾など）」（ともに57.1%・４人）となっています。

「放課後子ども教室」の1週間あたりの利用希望日数は「５日」（33.3%・２人）、希望終了時刻は「17時台」「18時台」（ともに33.3%・２人）が最も多くなっています。

「自宅」「習い事（スポーツ、塾など）」の1週間あたりの利用希望日数は、「３日」がともに50.0%（２人）でした。

≪放課後を過ごさせたい場所（高学年）≫複数回答



≪放課後子ども教室の利用希望日数≫

日　数	n	%
１日	0	0.0
２日	1	16.7
３日	0	0.0
４日	0	0.0
５日	2	33.3
６日	1	16.7
７日	0	0.0
無回答	2	33.3
全　体	6	100.0

≪放課後子ども教室の希望終了時刻≫

終了時刻	n	%
16時～16時59分	0	0.0
17時～17時59分	2	33.3
18時～18時59分	2	33.3
19時以降	0	0.0
無回答	2	33.3
全　体	6	100.0

※網掛け部はそれぞれの中で回答者が一番多い項目

■放課後を過ごさせたいと考えている１週間あたりの日数（高学年の間）

≪自宅≫

日　数	n	%
１日	0	0.0
２日	1	25.0
３日	2	50.0
４日	0	0.0
５日	1	25.0
６日	0	0.0
７日	0	0.0
無回答	0	0.0
全　体	4	100.0

≪習い事（スポーツ、塾など）≫

日　数	n	%
１日	0	0.0
２日	1	25.0
３日	2	50.0
４日	1	25.0
５日	0	0.0
６日	0	0.0
７日	0	0.0
無回答	0	0.0
全　体	4	100.0

≪祖父母等親族宅≫

日　数	n	%
１日	1	100.0
２日	0	0.0
３日	0	0.0
４日	0	0.0
５日	0	0.0
６日	0	0.0
７日	0	0.0
無回答	0	0.0
全　体	1	100.0

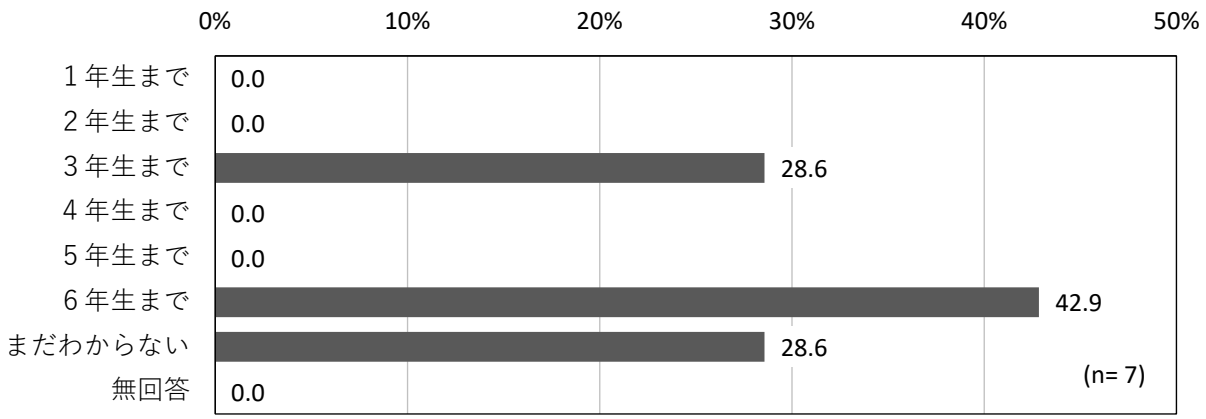
≪その他（公民館、公園など）≫

日　数	n	%
１日	0	0.0
２日	0	0.0
３日	0	0.0
４日	0	0.0
５日	1	100.0
６日	0	0.0
７日	0	0.0
無回答	0	0.0
全　体	1	100.0

※網掛け部はそれぞれの中で回答者が一番多い項目

（３）放課後子ども教室を何年生まで利用したいか

放課後子ども教室の利用を希望している保護者に、何年生まで放課後子ども教室を利用したいかうかがったところ、「６年生まで」が42.9%（３人）で最も多く、次いで「３年生まで」「まだわからない」（ともに28.6%・２人）となっています。

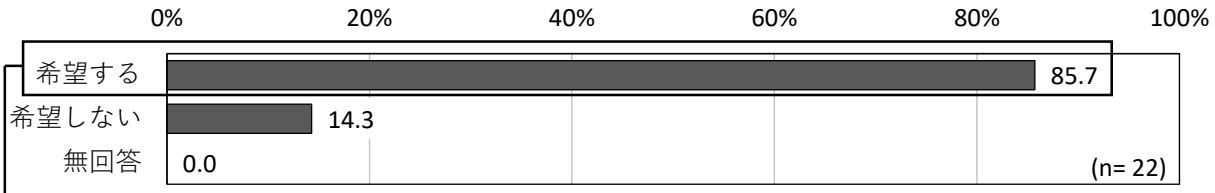


（4）土曜、日曜・祝日、長期休暇中の放課後子ども教室の利用希望等

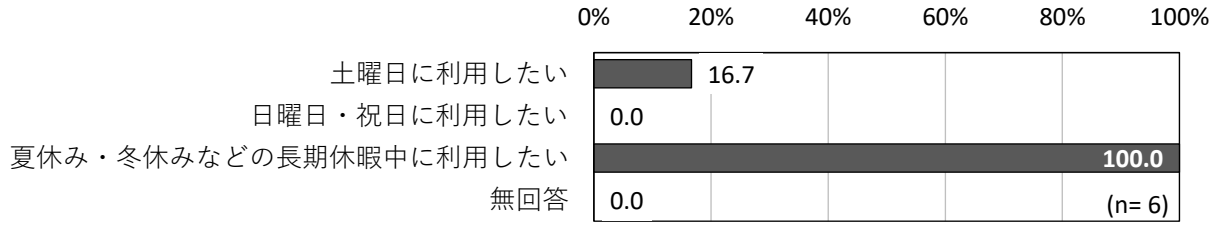
放課後子ども教室の利用を希望している保護者に、土曜、日曜・祝日、長期休暇中の利用希望をうかがったところ、利用を「希望する」は85.7%でした。その内訳をみると「夏休み・冬休みなどの長期休暇中に利用したい」が100.0%となっています。

利用を希望する時間帯は、土曜日は「８時台」から「18時台」まで、長期休暇中は「8時台」から「17時台」までが最も多い状況です。

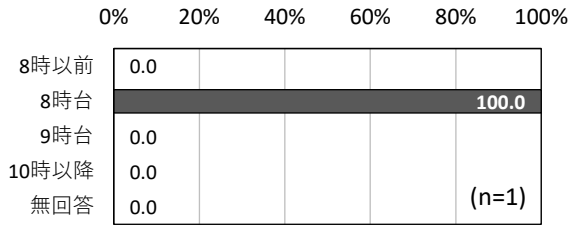
≪土曜日、日曜・祝日、長期休暇中の放課後子ども教室の利用希望≫



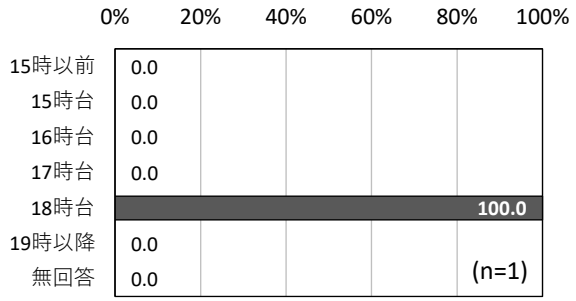
≪放課後子ども教室の利用を希望する曜日等≫複数回答



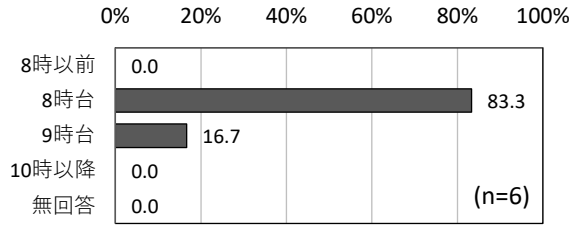
≪土曜日の希望開始時刻≫



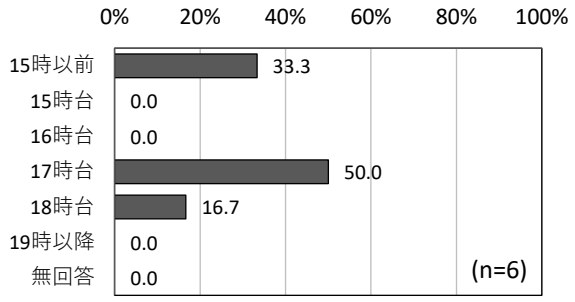
≪土曜日の希望終了時刻≫



≪長期休暇中の希望開始時刻≫



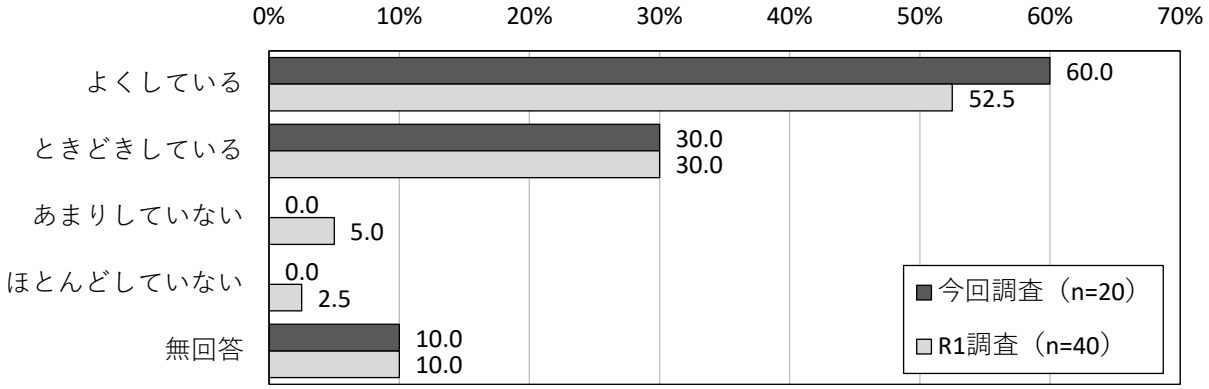
≪長期休暇中の希望終了時刻≫



10　家庭での子育てと子育て環境について

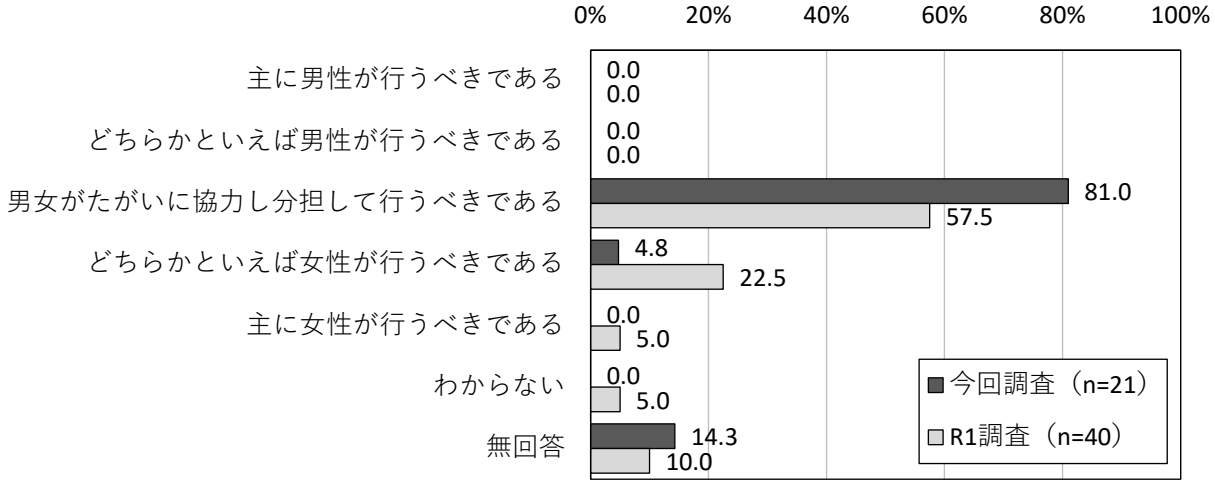
（1）父親の子育て参加状況

父親の子育て参加状況は、「よくしている」が60.0%で最も多く、次いで「ときどきしている」（30.0%）が続いています。「あまりしていない」「ほとんどしていない」は0.0%でした。



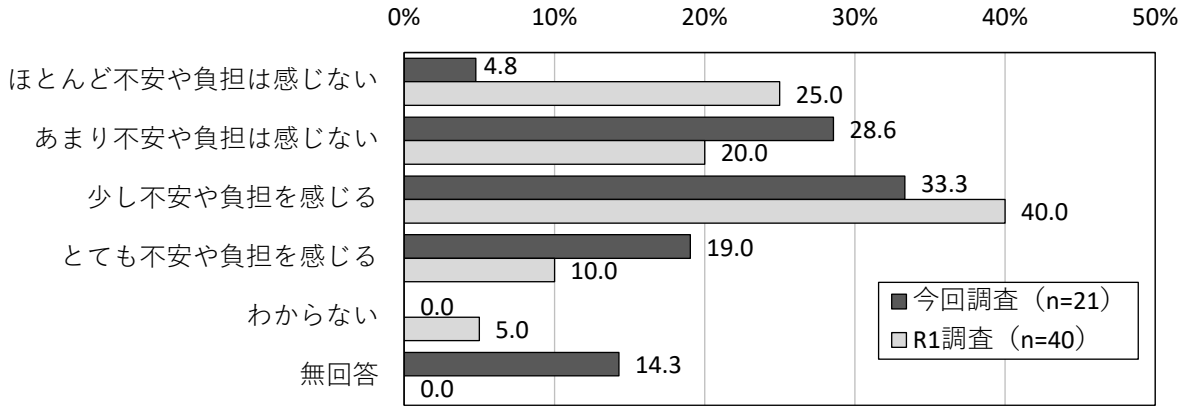
（2）家庭での家事分担について

家庭での家事分担については、「男女がたがいに協力し分担して行うべきである」が81.0%で最も多くなっており、「どちらかといえば女性が行うべきである」は4.8%（1人）でした。



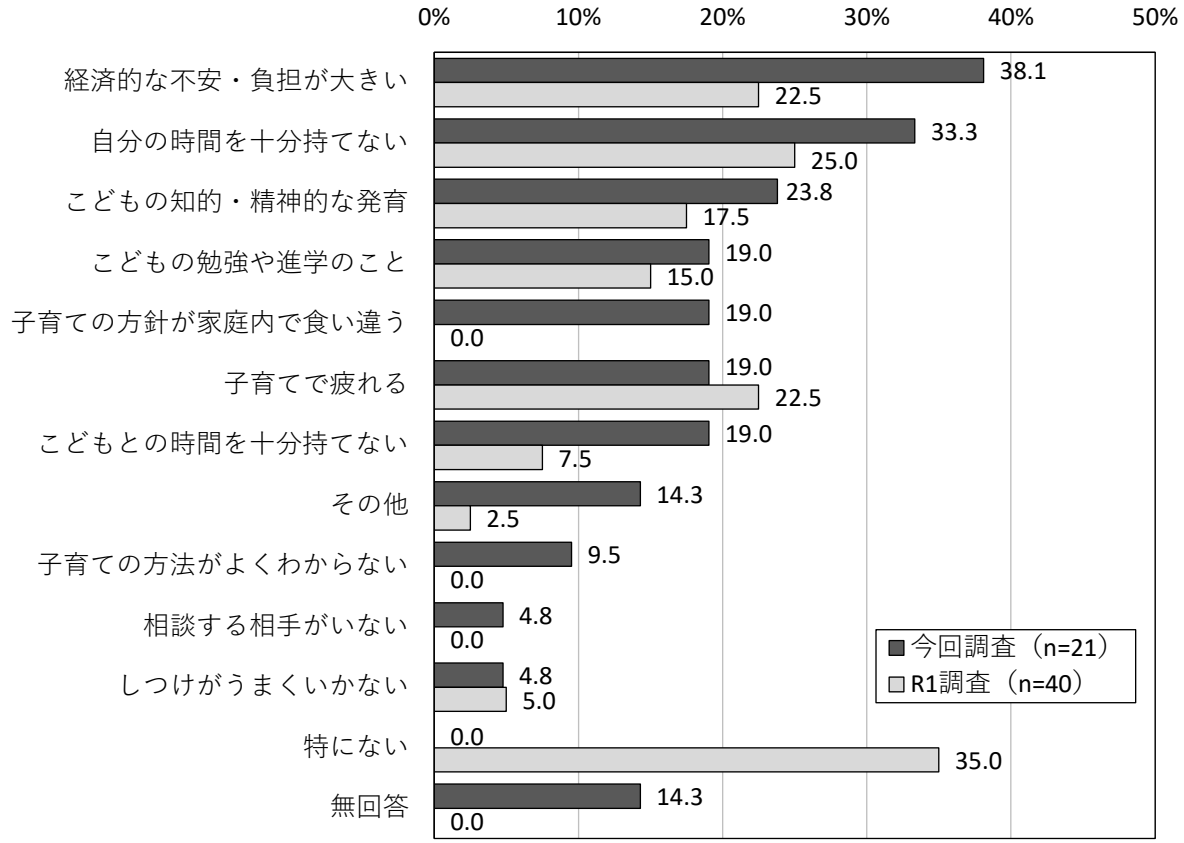
（３）子育てに関する不安・負担について

子育てに関する不安・負担について、「ほとんど不安や負担は感じない」「あまり不安や負担は感じない」の合計は33.4％（７人）、「少し不安や負担を感じる」「とても不安や負担を感じる」の合計は52.3％（11人）でした。



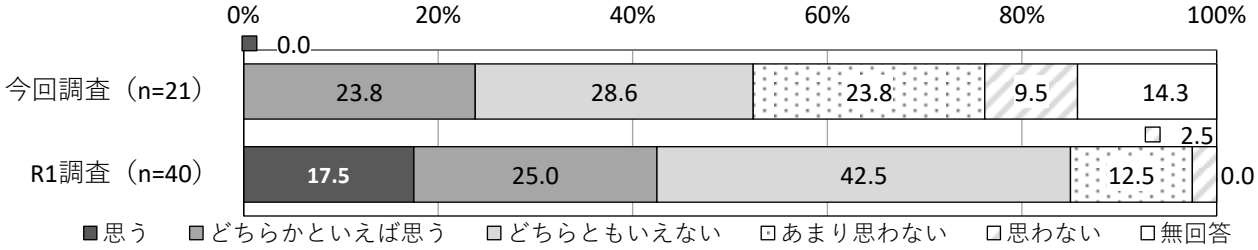
（４）子育てに関する悩みについて（複数回答）

子育てに関する悩みについては、「経済的な不安・負担が大きい」が38.1％（８人）で最も多く、次いで「自分の時間を十分持てない」（33.3％・７人）、「こどもの知的・精神的な発育」（23.8％・５人）が続いています。



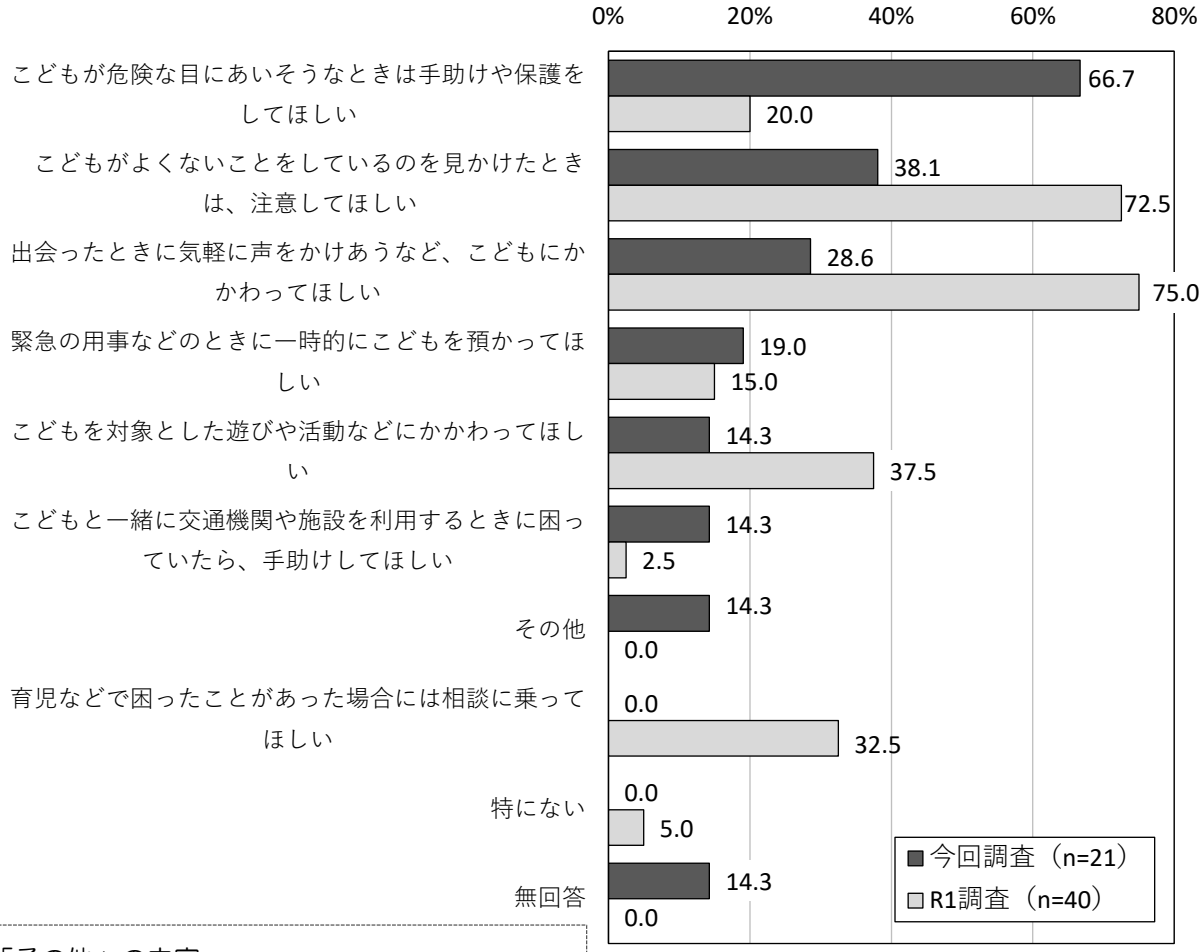
（5）村の子育て・教育のしやすさについて

赤井川村は子育て・教育がしやすいと「思う」は0.0%、「どちらかといえば思う」は23.8%でした。前回調査と比較すると、「思う」「どちらかといえば思う」の合計は18.7ポイント減少しています。



（6）子育てをする上で近所や地域に望むこと（複数回答）

子育てをする上で、近所や地域に望むことは、「こどもが危険な目にあいそうなときは手助けや保護をしてほしい」が66.7%で最も多く、「こどもがよくないことをしているのを見かけたときは、注意してほしい」（38.1%）、「出会ったときに気軽に声をかけあうなど、こどもにかかわってほしい」（28.6%）が続いています。

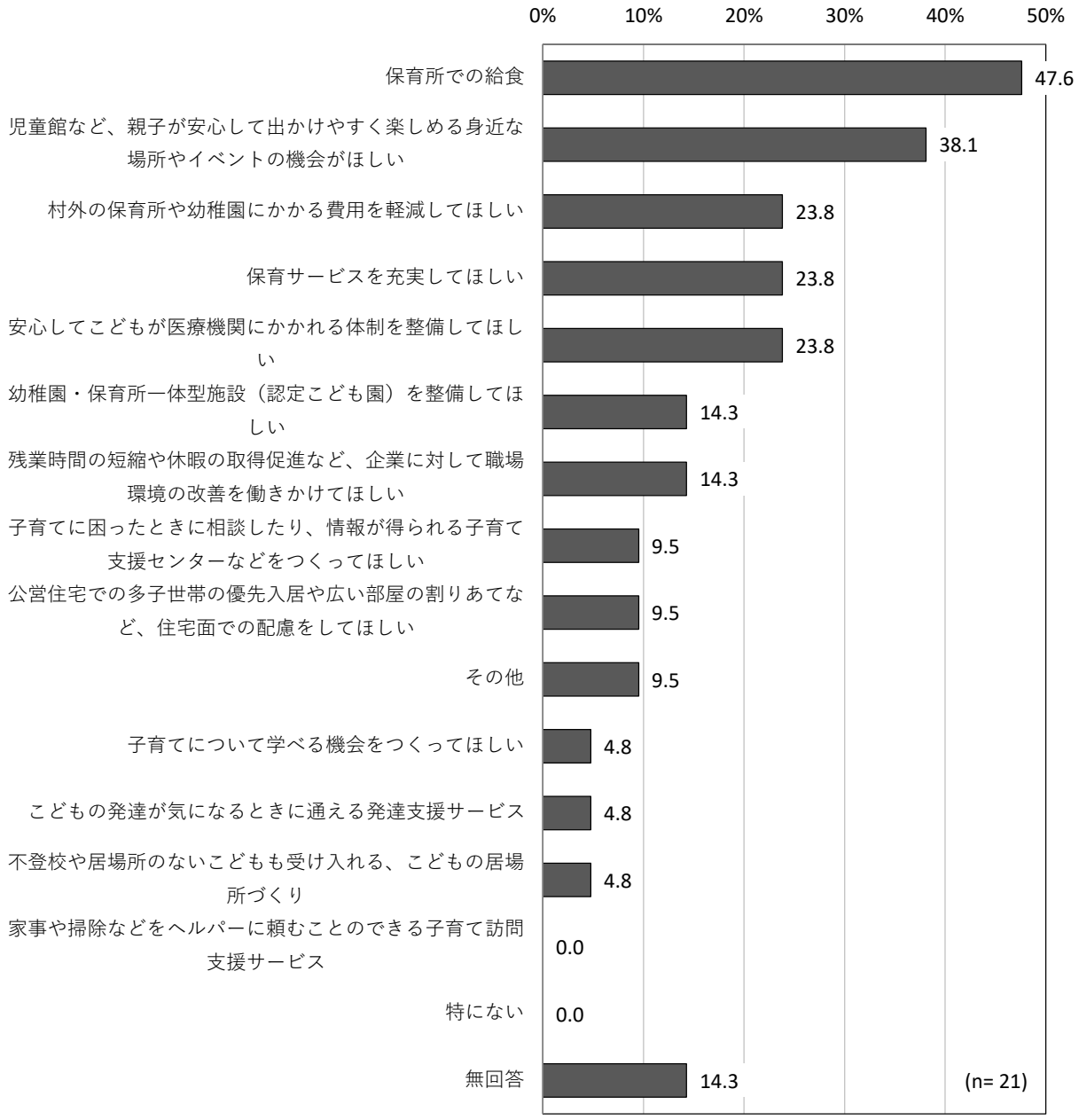


「その他」の内容

・情報が漏れるので、守秘義務を遵守してほしい

（7）村の子育て支援について期待すること（複数回答）

村に期待する子育て支援は、「保育所での給食」（47.6％・10人）、「児童館など、親子が安心して出かけやすく楽しめる身近な場所やイベントの機会がほしい」（38.1％・８人）が多くなっています。



「その他」の内容

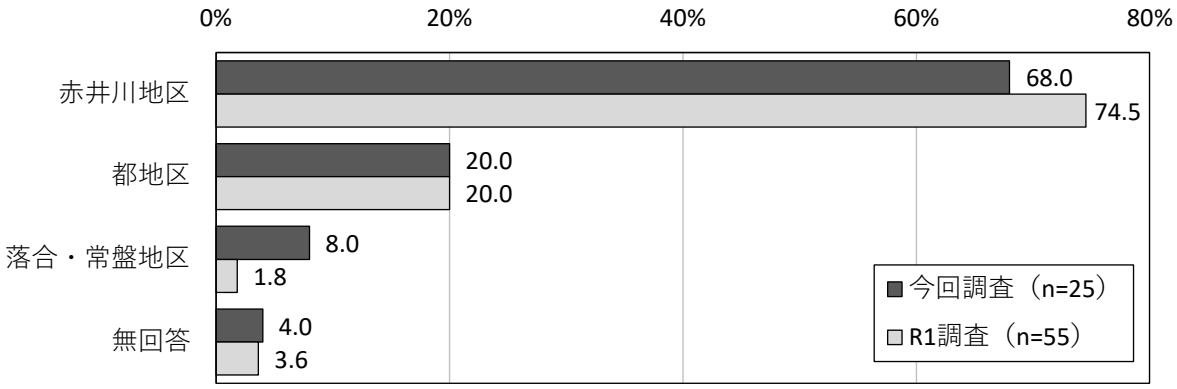
- 医療や発達についての、啓発や相談
- 利用時間の延長

第３章　小学生の集計結果

1　お子さんとご家族の状況について

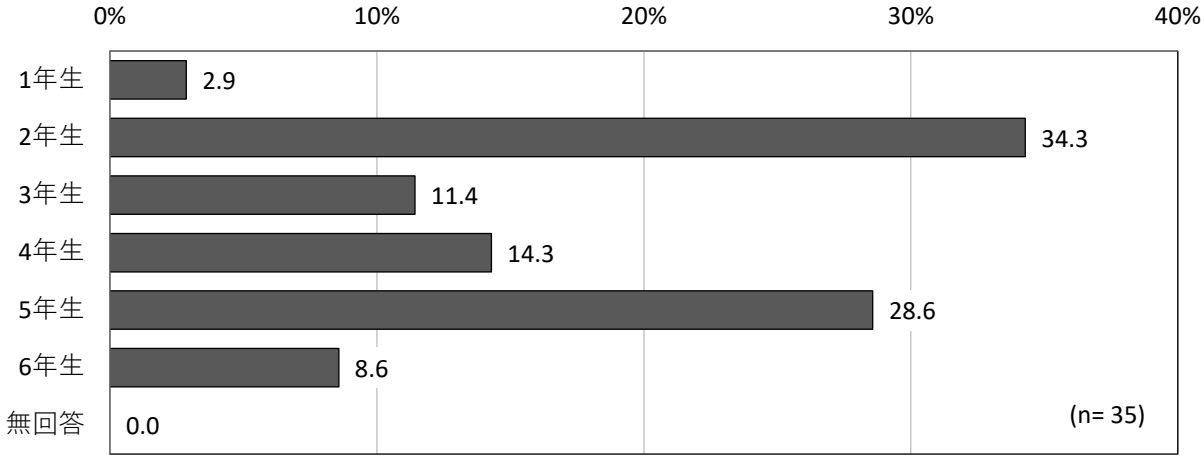
（1）居住地区

居住地域は、「赤井川地区」が68.0%、「都地区」（20.0%）、「落合・常盤地区」（8.0%）となっています。



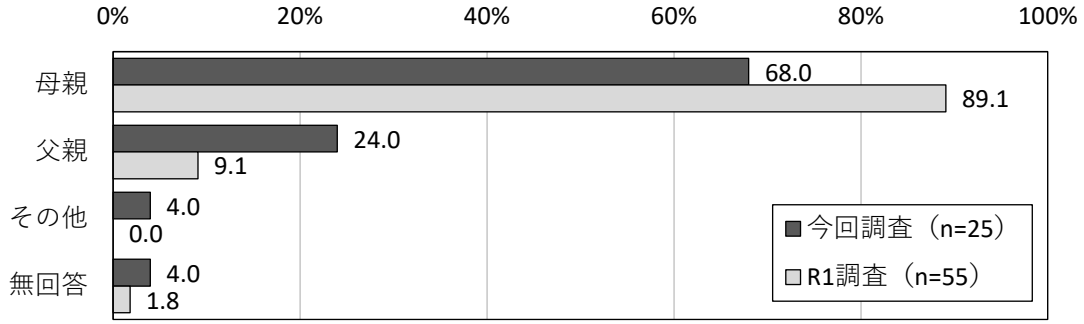
（2）お子さんの学年

お子さんの学年は、「２年生」が34.3%、「５年生」が（28.6%）となっています。



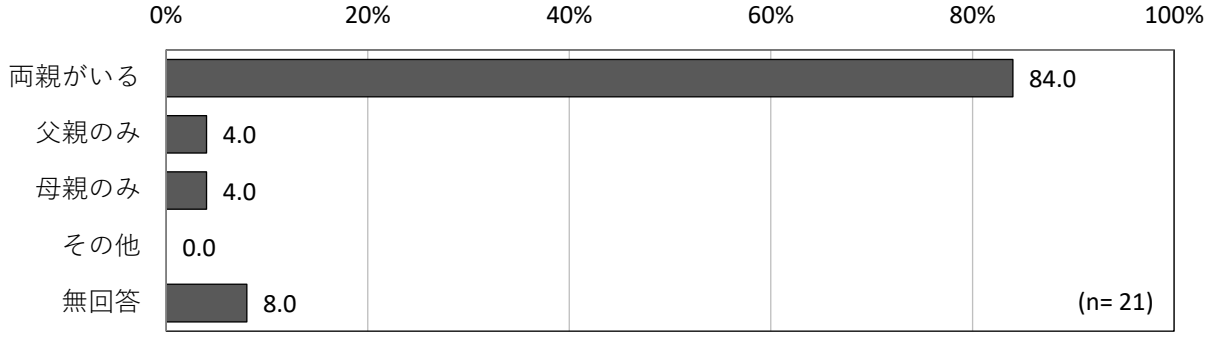
（3）回答者

調査票の回答者は、「母親」が68.0%、「父親」は24.0%となっています。



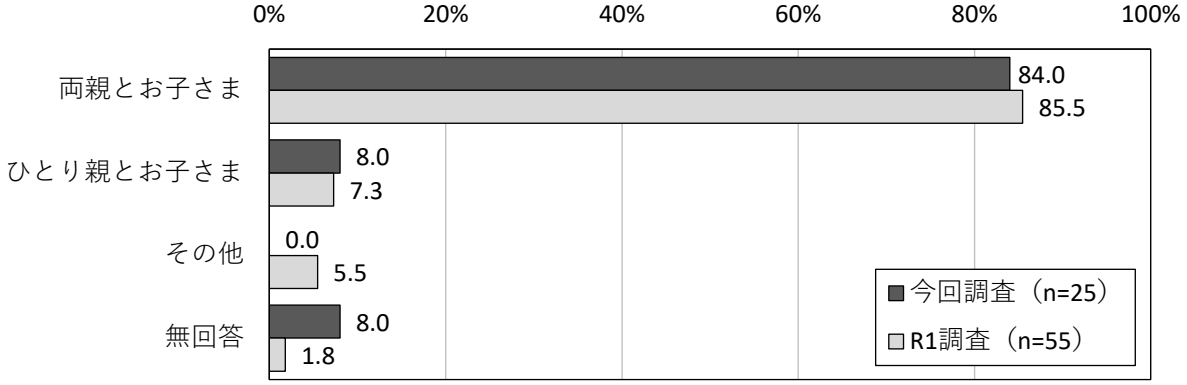
（4）保護者について

保護者の状況は、「両親がいる」が84.0%で最も多くなっています。一方、「父親のみ」「母親のみ」という回答もともに4.0%（1人）ありました。



（5）家族構成

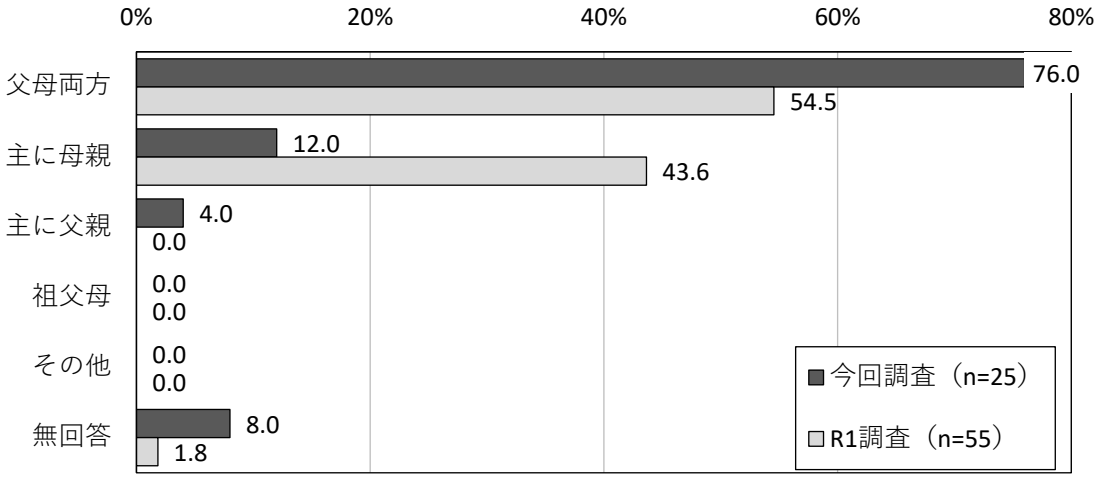
家族構成は、「両親とお子さま」が84.0%で最も多くなっています。



（6）子育てを主に行っている人

子育てを主に行っているのは、「父母両方」が76.0%で最も多く、次いで「主に母親」が12.0%で続いています。

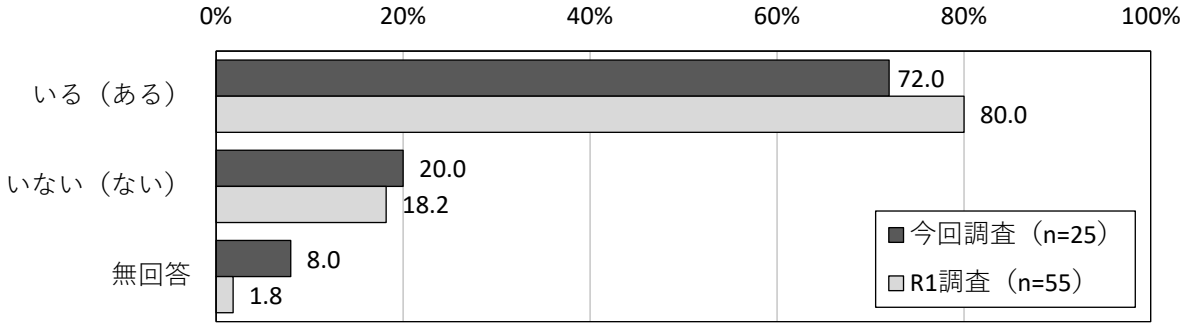
前回調査と比較すると「主に母親」は31.6ポイント減少しています。



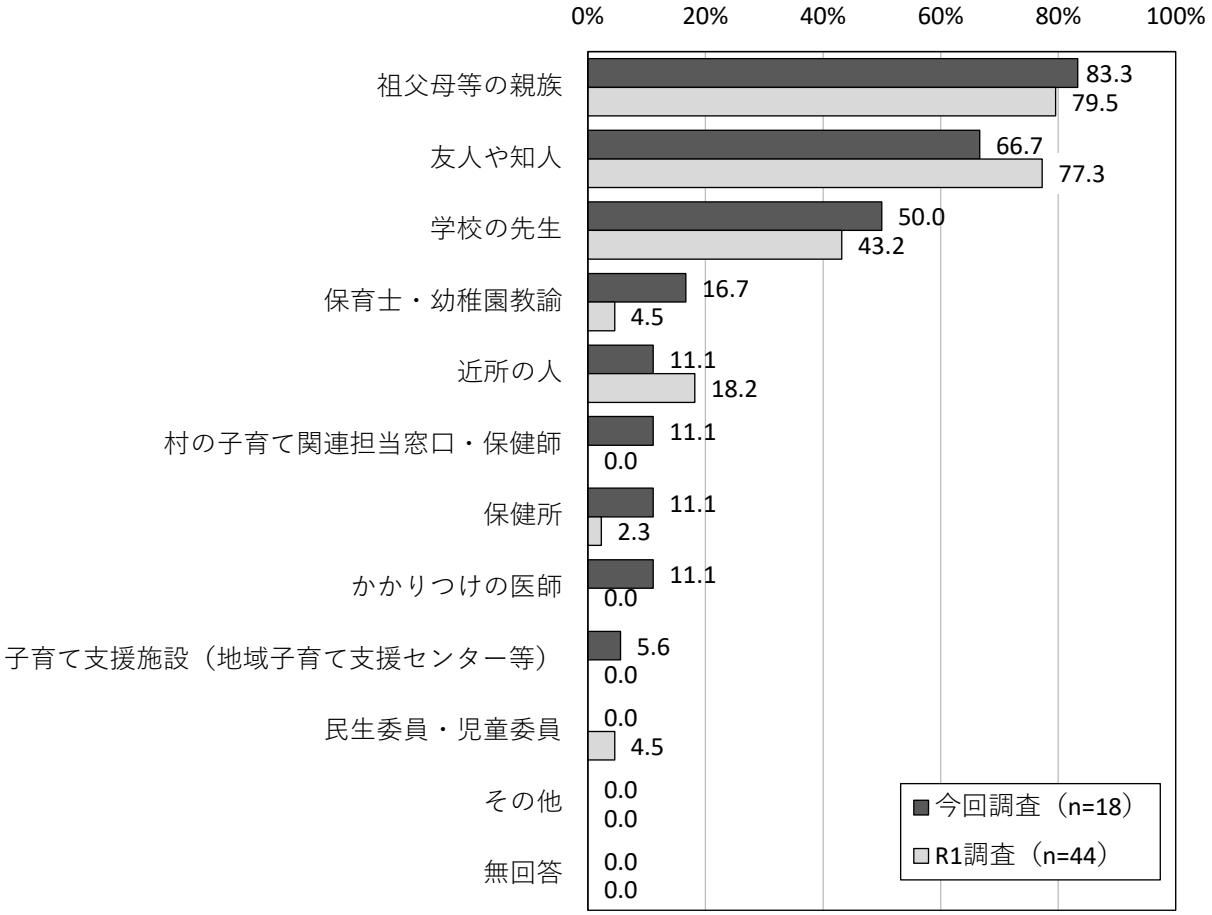
（7）子育てに関する相談相手について

子育てに関して気軽に相談できる人（場所）が「いる（ある）」と回答した人は72.0%でした。
また、その相談相手としては、「祖父母等の親族」（83.3%）、「友人や知人」（66.7%）、「学校の先生」（50.0%）が多くなっています。

≪相談相手（場所）の有無≫



≪相談相手（場所）≫複数回答



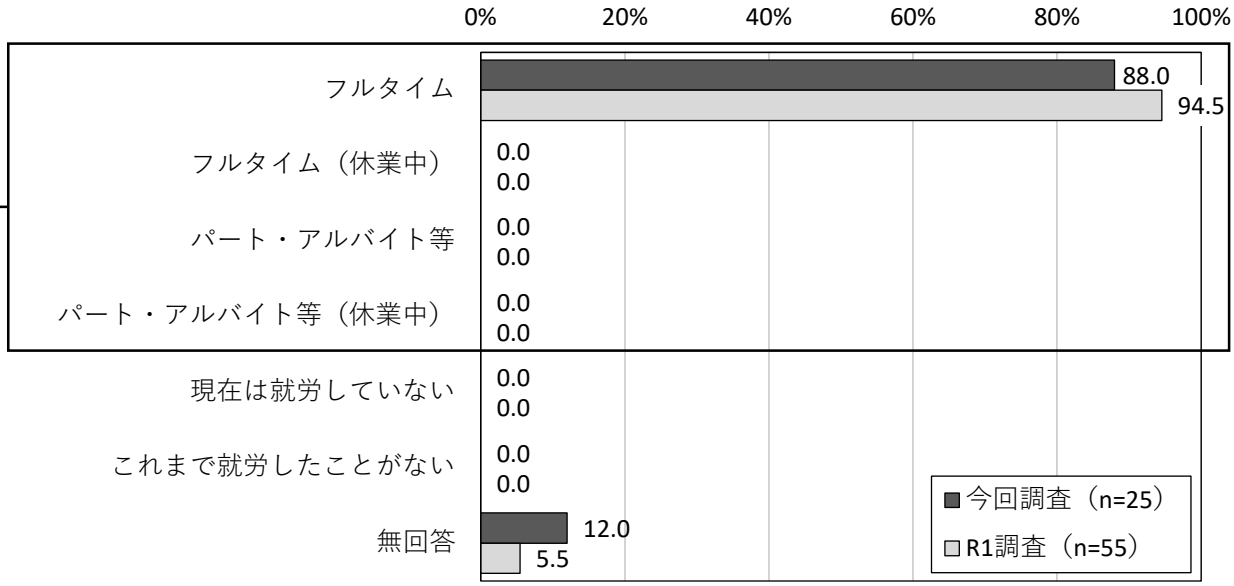
２　父親の就労状況について

（１）現在の就労状況

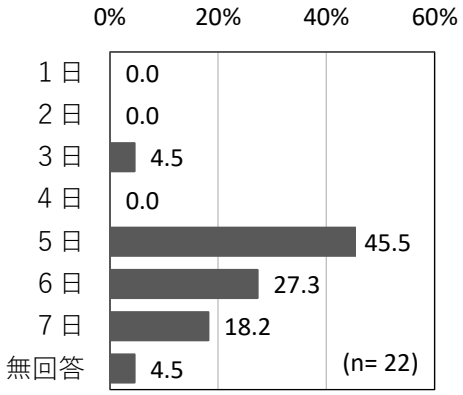
父親の現在の就労状況は、「フルタイム」（休業中を含む）が88.0%を占めています。

現在、就労している父親の１週あたりの就労日数は「５日」（45.5%）、１日あたりの就労時間は「８時間～９時間未満」（50.0%）が最多回答となっていますが、１日あたりの就労時間が「10時間以上」といった回答も40.9%と多くみられる状況です。

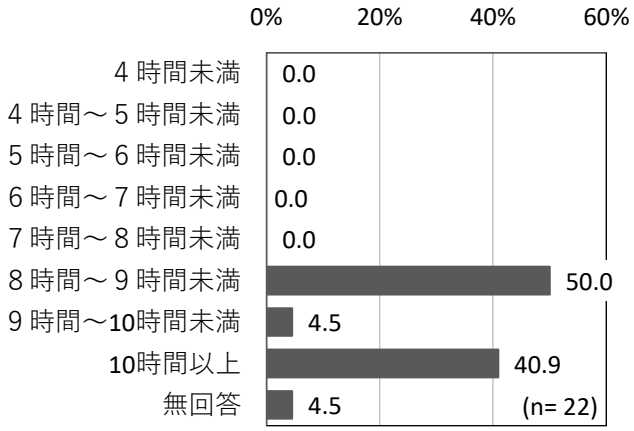
≪現在の就労状況（父親）≫



≪１週あたりの就労日数（父親）≫



≪１日あたりの就労時間（父親）≫



（２）今後の就労意向等

①パート・アルバイト等で就労している父親のフルタイムへの転換希望

パート・アルバイト等で就労していると回答した父親はいませんでした。

②未就労の父親の就労希望、希望する就労形態等

未就労と回答した父親はいませんでした。

③お子さんが何歳になったら就労したいか

「１年以上先に、子どもがある程度大きくなったら就労したい」と回答した父親はいませんでした。

３　母親の就労状況について

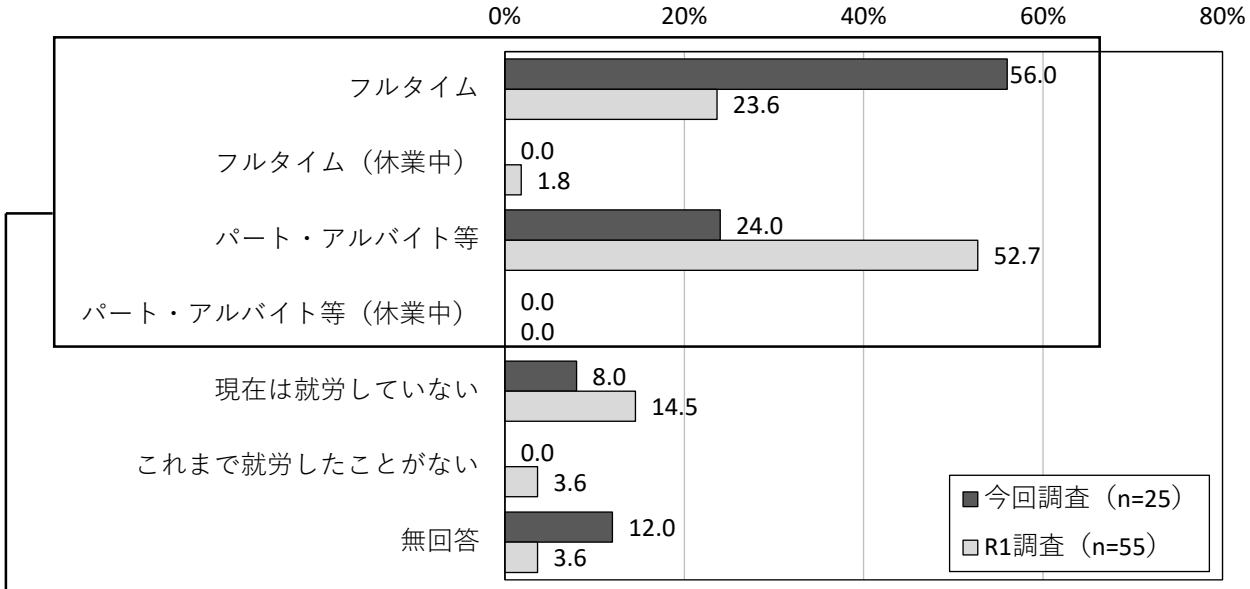
（１）現在の就労状況

母親の現在の就労状況は、「フルタイム」（休業中を含む）が56.0%、「パート・アルバイト等」（休業中を含む）が24.0%となっています。また、「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」の合計は8.0%です。

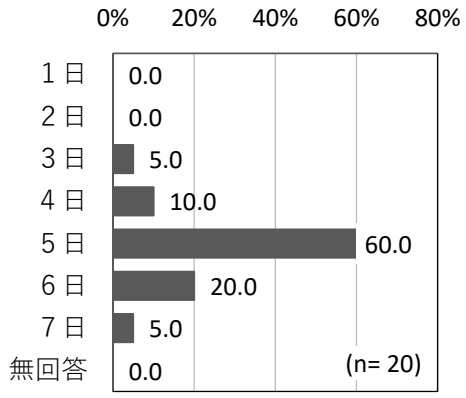
前回調査と比較すると「フルタイム」（休業中を含む）は30.6ポイント増加し、「パート・アルバイト等」（休業中を含む）の合計は28.7ポイント減少しています。

現在、就労している母親の１週あたりの就労日数は「５日」が60.0%、１日あたりの就労時間は「８時間～９時間未満」が50.0%で最も多くなっています。

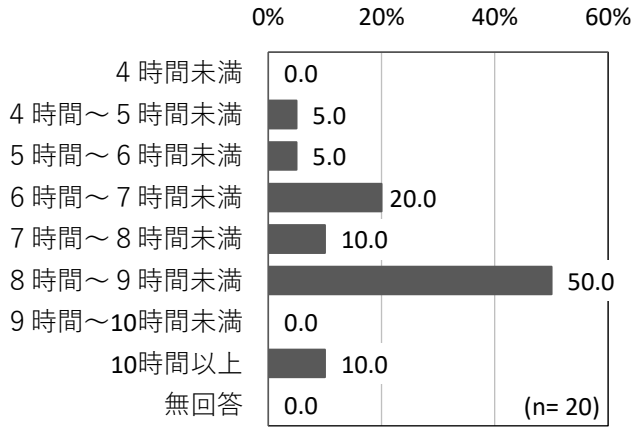
≪現在の就労状況（母親）≫



≪１週あたりの就労日数（母親）≫



≪１日あたりの就労時間（母親）≫

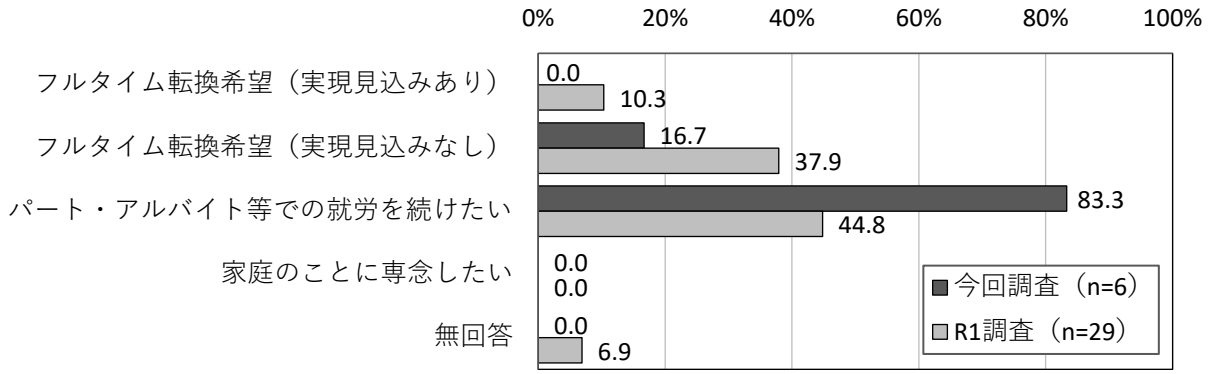


（２）今後の就労意向

①パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望

パート・アルバイト等で就労している母親にフルタイムへの転換希望をうかがったところ、「パート・アルバイト等での就労を続けたい」が83.3%（５人）で最も多くなっています。フルタイムへの転換を希望する人は、「実現見込みあり」が0.0%、「実現見込みなし」が16.7%（１人）でした。

前回調査と比較すると「パート・アルバイト等での就労を続けたい」が38.5ポイント増加しています。

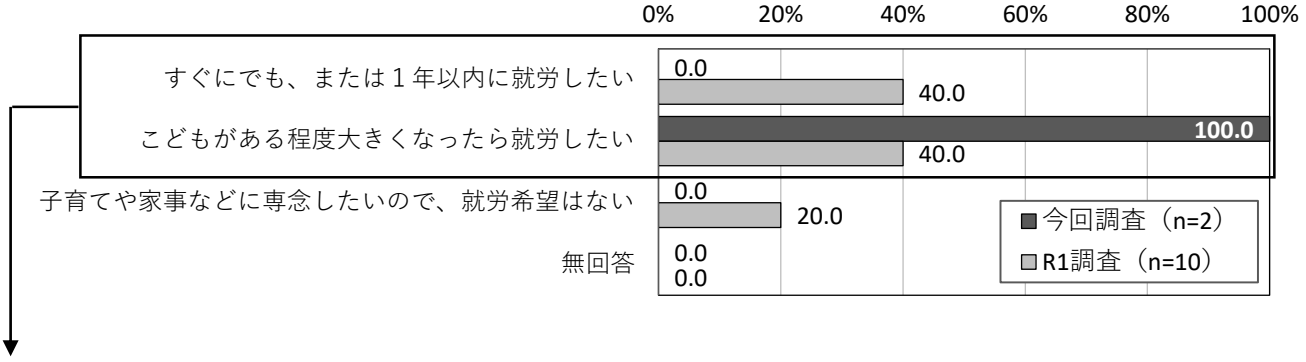


②未就労の母親の就労意向、希望する就労形態等

未就労の母親に就労意向をうかがったところ、「こどもがある程度大きくなったら就労したい」が100.0%（２人）でした。

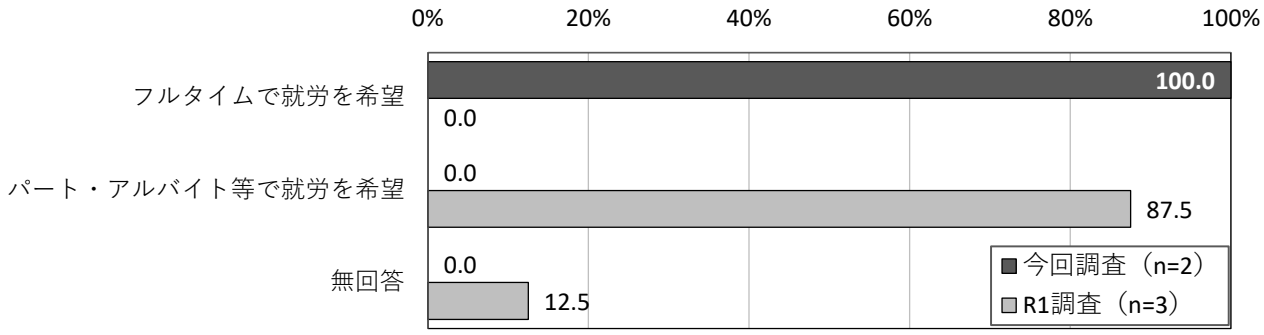
続いて、就労意向のある母親２人に希望する就労形態をうかがったところ、いずれも「フルタイムで就労を希望」しています。

≪今後の就労意向（未就労の母親）≫



「希望する就労形態」は次ページへ

≪希望する就労形態（未就労の母親）≫



③こどもが何歳になったら就労したいか

「こどもがある程度大きくなったら就労したい」と回答した母親（２人）に、お子さんが何歳になったら就労したいかうかがったところ、いずれも「12歳」と回答しています。

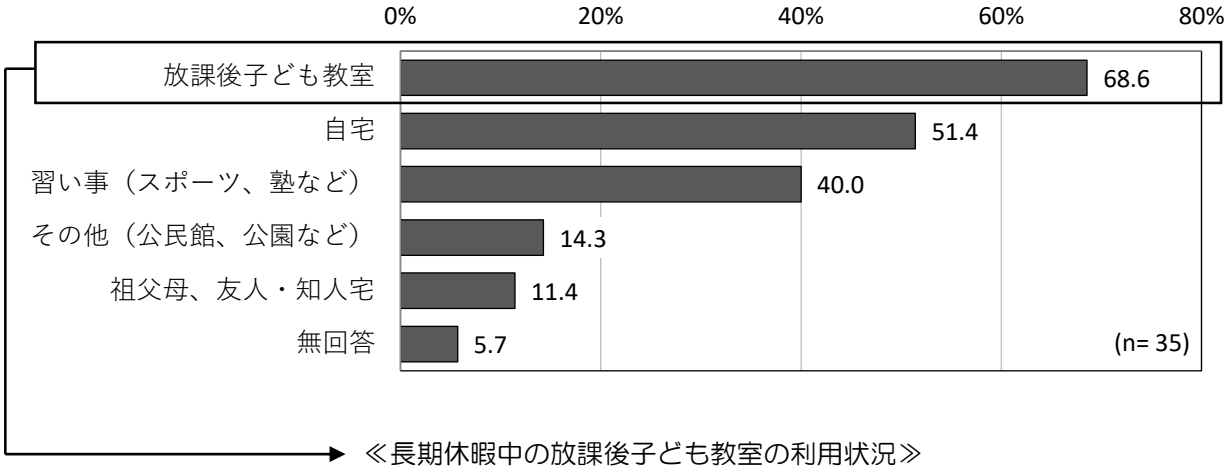
4　お子さんの現在の放課後の過ごし方について

（1）現在、放課後を過ごしている場所等

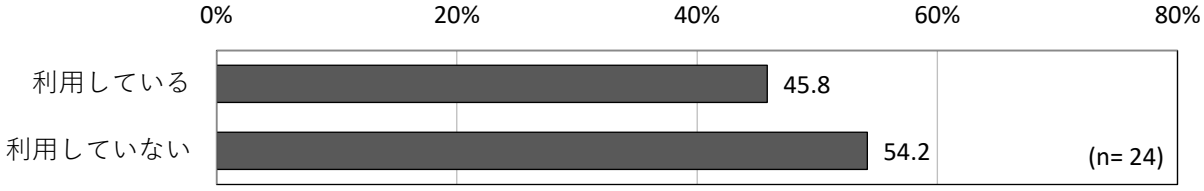
現在、放課後をどこで過ごしているかうかがったところ、「放課後子ども教室」が68.6%で最も多く、次いで「自宅」（51.4%）、「習い事（スポーツ、塾など）」（40.0%）となっています。

続いて、現在、放課後子ども教室を利用していると回答した保護者に長期休暇中の放課後子ども教室の利用状況をうかがったところ、「利用している」は45.8%、「利用していない」は54.2%でした。

≪現在、放課後を過ごしている場所≫複数回答



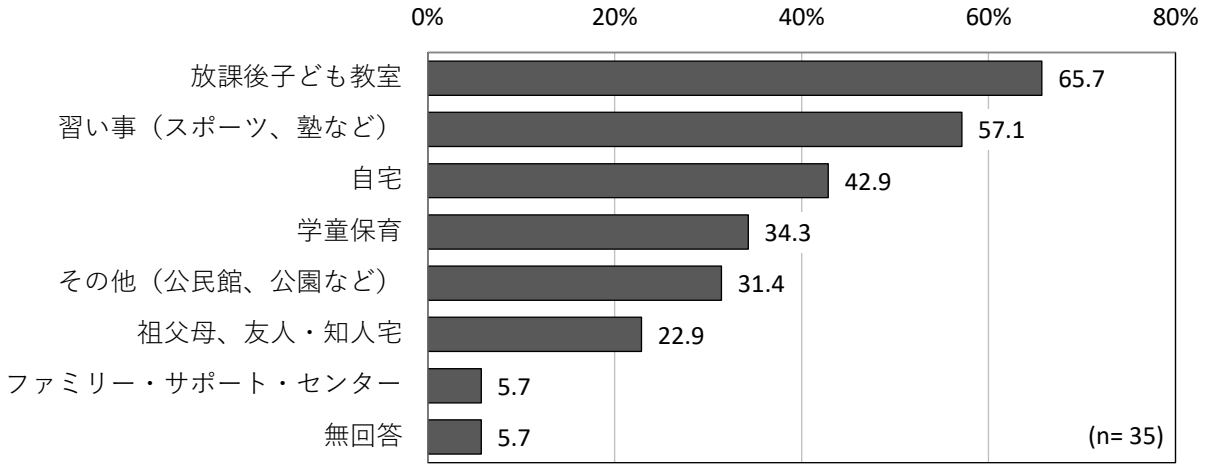
≪長期休暇中の放課後子ども教室の利用状況≫



5　お子さんの今後の放課後の過ごし方について

（1）今後、放課後を過ごさせたいと考えている場所等（複数回答）

今後、放課後をどこで過ごさせたいと考えているかうかがったところ、「放課後子ども教室」が65.7%で最も多く、「習い事（スポーツ、塾など）」（57.1%）、「自宅」（42.9%）が続いています。



（2）土曜、日曜・祝日、長期休暇中の「放課後子ども教室」の利用希望等

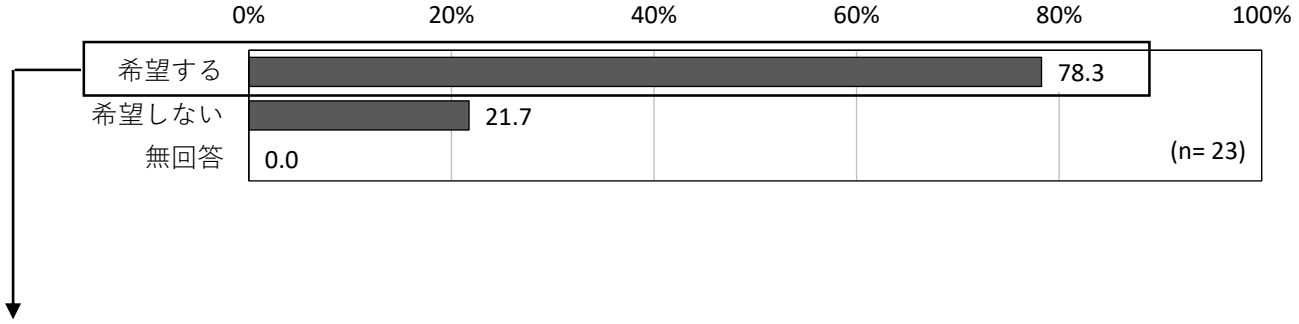
「放課後子ども教室」の土曜日、日曜・祝日、長期休暇中の利用意向は、「希望する」が78.3%となっています。

続いて、利用希望曜日等をうかがったところ、「土曜日に利用したい」は44.4%（８人）で、希望開始時刻は「９時台」（50.0%）、終了時刻は「18時台」（50.0%）が多くなっています。

「日曜・祝日に利用したい」は16.7%（３人）で、希望開始時刻は「９時台」（33.3%）、終了時刻は「18時台」（33.3%）でした。

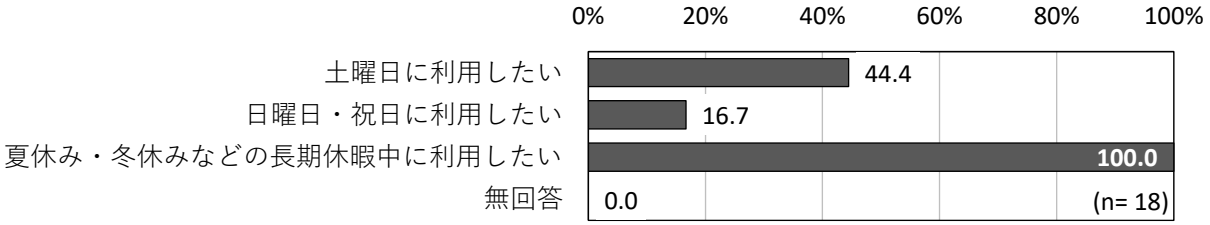
「夏休み･冬休みなどの長期休暇中に利用したい」は100.0%で、希望開始時刻は「９時台」(55.6%)、終了時刻は「18時台」（38.9%）が多くなっています。

≪土曜日、日曜・祝日、長期休暇中の利用希望≫

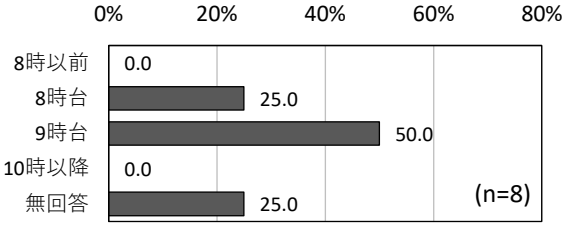


「希望する曜日や時間帯」は次ページへ

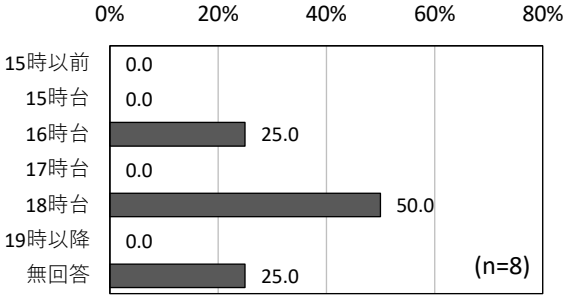
≪放課後子ども教室の利用希望曜日等≫



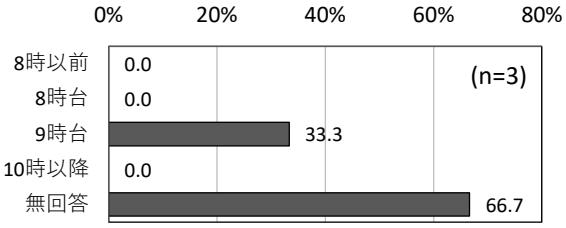
≪土曜日の希望開始時刻≫



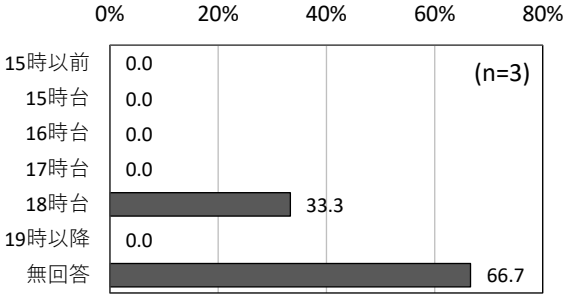
≪土曜日の希望終了時刻≫



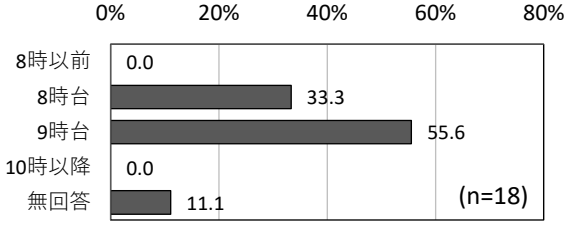
≪日曜・祝日の希望開始時刻≫



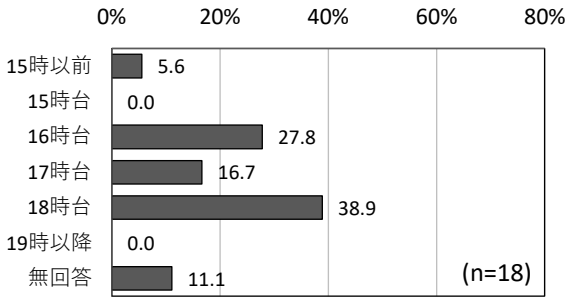
≪日曜・祝日の希望終了時刻≫



≪長期休暇中の希望開始時刻≫



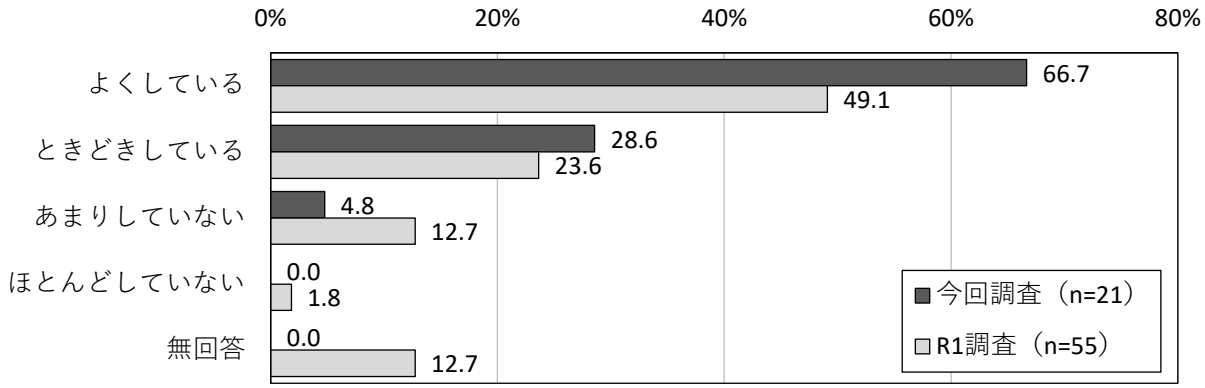
≪長期休暇中の希望終了時刻≫



６　家庭での子育てと子育て環境について

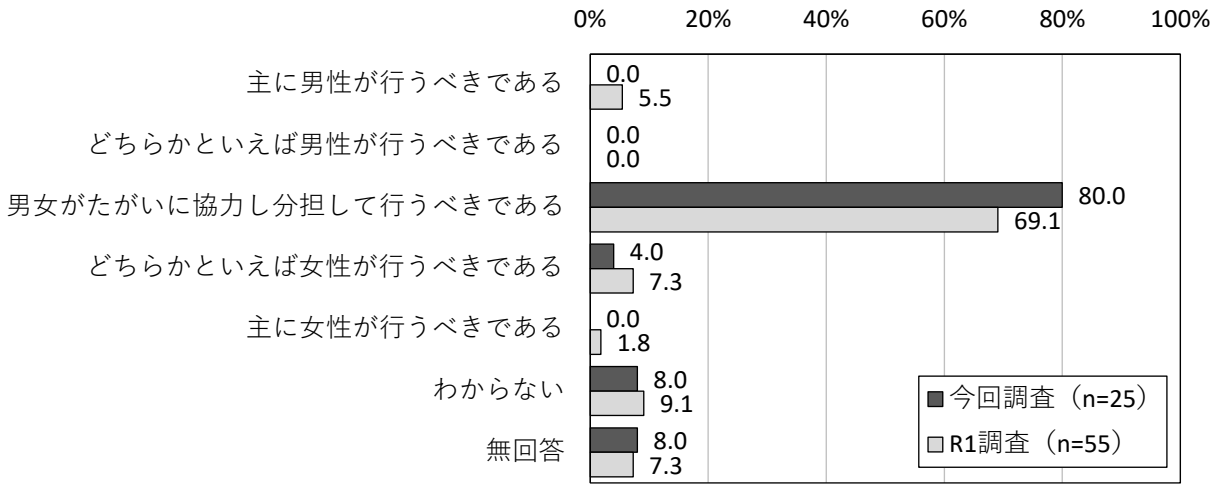
（１）父親の子育て参加状況

父親の子育て参加状況は、「よくしている」が66.7%が最も多く、「ときどきしている」（28.6%）が続いています。「あまりしていない」は4.8%（１人）、「ほとんどしていない」は0.0%でした。



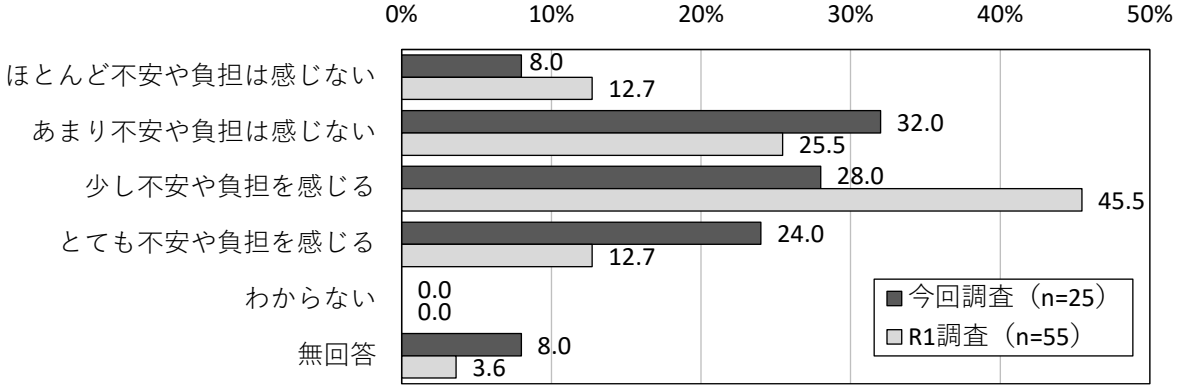
（２）家庭での家事分担について

家庭での家事分担については、「男女がたがいに協力し分担して行うべきである」が80.0%で最も多くなっており、「どちらかといえば女性が行うべきである」は4.0%（１人）でした。



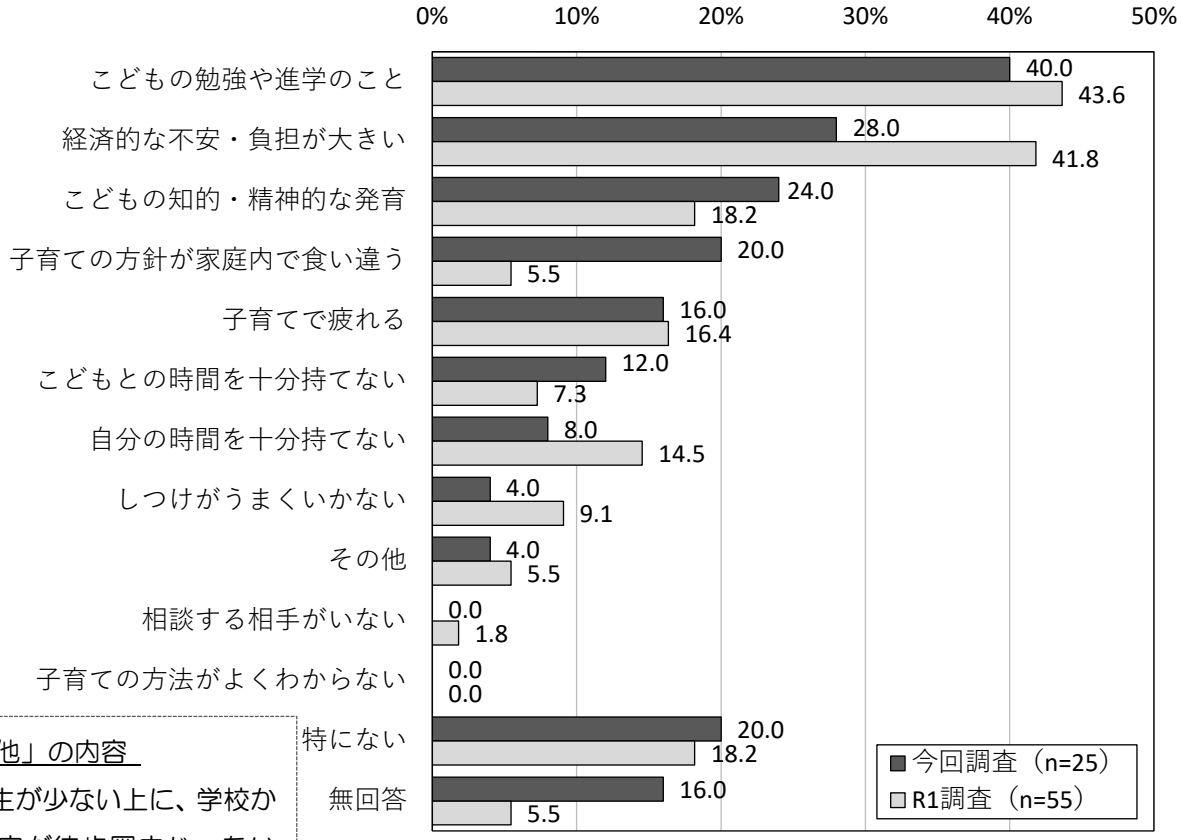
（3）子育てに関する不安・負担について

子育てに関する不安・負担について、「ほとんど不安や負担は感じない」「あまり不安や負担は感じない」の合計は40.0%、「少し不安や負担を感じる」「とても不安や負担を感じる」の合計は52.0%でした。



（4）子育てに関する悩みについて（複数回答）

子育てに関する悩みについては、「こどもの勉強や進学のこと」が40.0%で最も多く、次いで「経済的な不安・負担が大きい」（28.0%）、「こどもの知的・精神的な発育」（24.0%）が続いています。

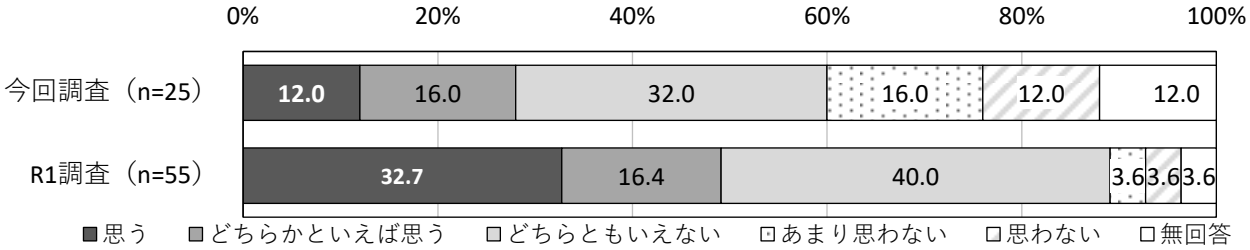


「その他」の内容

・同級生が少ない上に、学校から自宅が徒歩圏内じゃないので友達と遊ばせられない

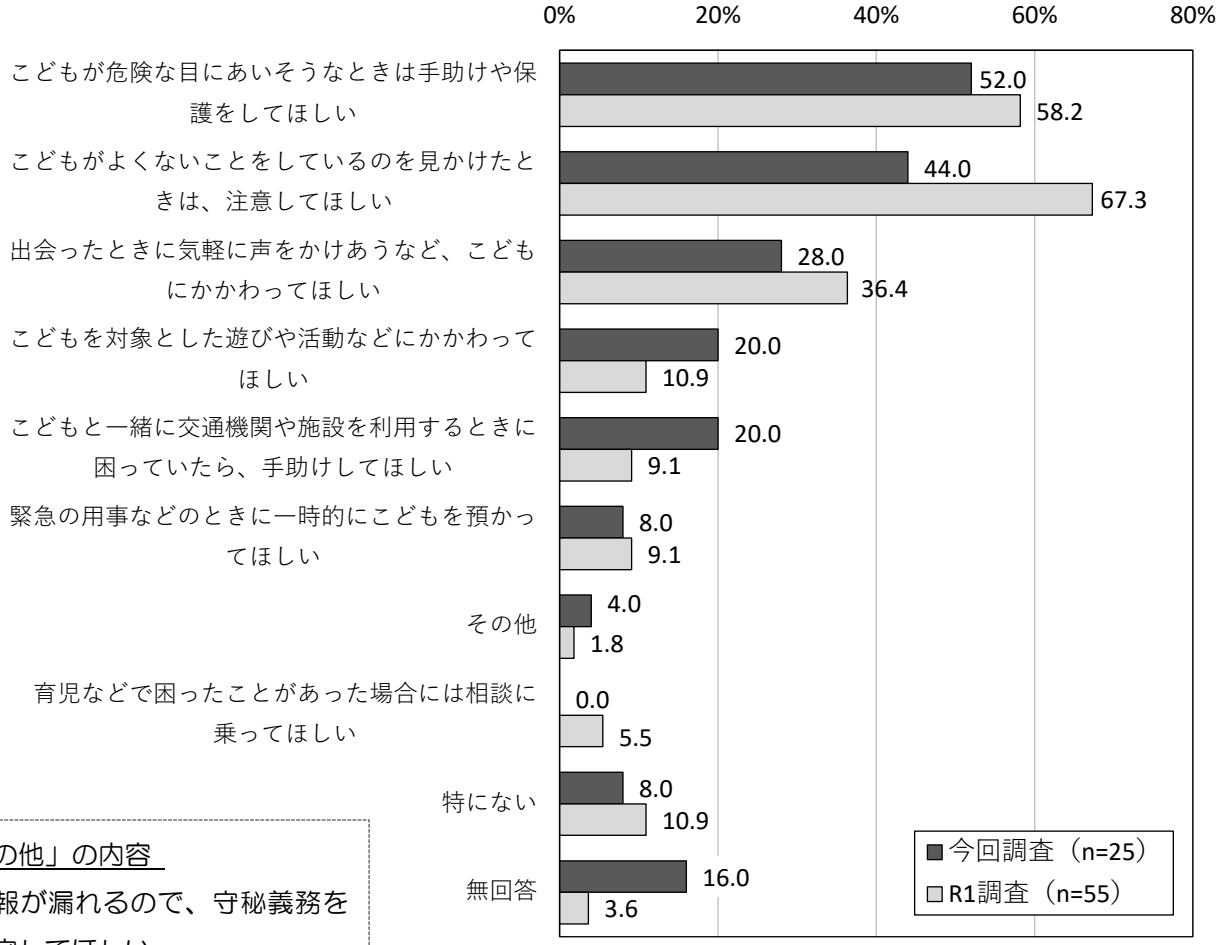
（5）村の子育て・教育のしやすさについて

赤井川村は子育て・教育がしやすいと「思う」「どちらかといえば思う」の合計は28.0%でした。前回調査と比較すると「思う」「どちらかといえば思う」の合計は21.1ポイント減少しています。



（6）子育てをする上で近所や地域に望むこと（複数回答）

子育てをする上で、近所や地域に望むことは、「こどもが危険な目にあいそうなときは手助けや保護をしてほしい」が52.0%で最も多く、「こどもがよくないことをしているのを見かけたときは、注意してほしい」（44.0%）、「出会ったときに気軽に声をかけあうなど、こどもにかかわってほしい」（28.0%）が続いています。

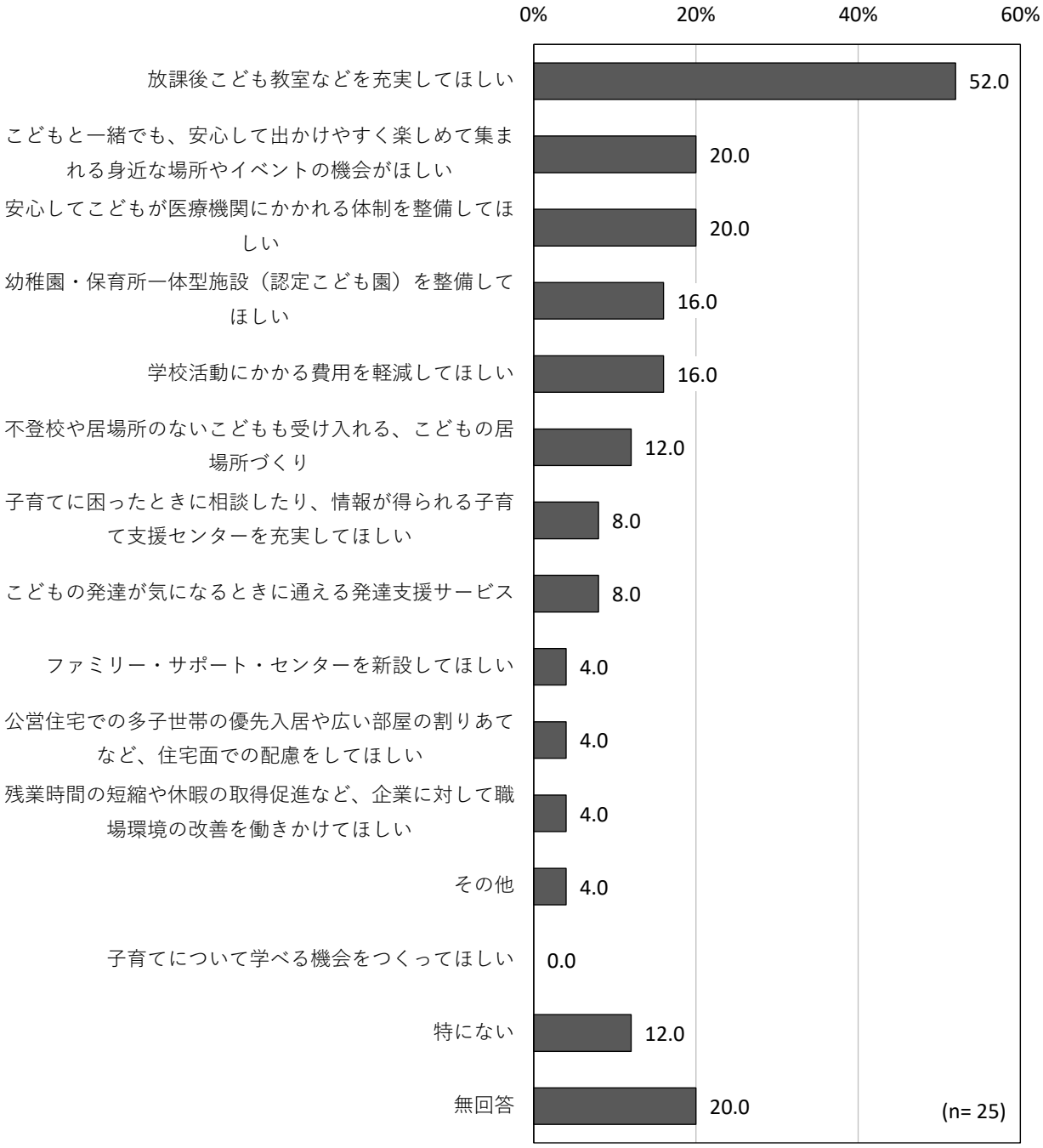


「その他」の内容

- 情報が漏れるので、守秘義務を遵守してほしい

（7）村の子育て支援について期待すること（複数回答）

村に期待する子育て支援は、「放課後子ども教室を充実してほしい」が52.0%で最も多く、「こどもと一緒でも、安心して出かけやすく楽しめて集まれる身近な場所やイベントの機会がほしい」や「安心してこどもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」（20.0%）が続いています。



「その他」の内容

・安心して誰でも気軽に立ち寄れる居場所づくり（図書館やコミュニティセンターみたいな場所）